



ESG: 環境・社会・ ガバナンスレポート 2023

発行：2024年6月

【日本語翻訳版】



目次

本レポートについて	3
2023 年のハイライト	4
Medline について	5
指針	6
当社の事業	7

リーダーシップと戦略	8
CEO メッセージ	9
市場促進要因への対応	10
ESG 担当バイスプレジデントの知見	11
ESG のガバナンスと アカウンタビリティ	12
マテリアリティに対する アプローチと優先トピック	13
戦略的枠組み	14
国連「持続可能な開発目標」 (SDGs) との整合	15

気候レジリエンスと 環境への取り組み	17
環境マネジメントと認証	18
エネルギーと気候	19
環境スチュワードシップ	23

責任ある製品	25
製品の安全性、 表示とマーケティング	26
持続可能な製品・プロダ ラム・パッケージング	28

人々とコミュニティ	31
従業員の健康と安全	32
従業員のウェルビーイング とメンタルヘルス	33
人材の確保と維持	34
従業員エンゲージメント	35
DEI (ダイバーシティ、 エクイティ、インクルー ジョン)	37
コミュニティ エンゲージメント	40
医療アクセスと 適正な医療費	42
サプライヤーの多様性	44

強固なガバナンス	45
倫理とコンプライアンス	46
エシカルソーシング	48
情報セキュリティ	51
SASB 指標	52
用語集	56

本レポートについて

本 ESG レポートは、2023 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までの Medline Industries, LP の国際的な ESG 戦略およびプログラムに関する情報を提供するものです。

Medline の ESG 戦略およびレポートは、当社にとって最も重要な ESG トピックスに関して当社が実施する分析に基づいて作成されます。こうした取り組みは、ESG マテリアリティの概念に沿ったものです。当社は 3 年ごと、または事業に大きな変化があった場合に、必要に応じて評価を実施しています。評価実施年以外の年には、ESG 優先課題が確実に当社の事業運営に合致し、最新の ESG ベストプラクティスを反映したものになるよう、ESG 優先課題の見直しを行います。当社の取り組みは、従業員、顧客、サプライヤー、規制当局、コミュニティの人々をはじめとするステークホルダーからのインプットにも基づいています。

本レポートのデータは、Medline の施設、オペレーション、バリューチェーンに特化したものです。当社は主要な指標に関するレポートの正確性を確保するための内部プロセスがあり、これらのプロセスを今後も引き続き改善し続けます。

2023 年に、当社は透明性と正確性へのコミットメントを強化する一方、当社の ESG への取り組みを支えるためのデータガバナンスプラットフォームを構築しました。また、レポートに不可欠な主要指標およびパラメータも特定しました。当社の情報開示はサステナビリティ会計基準審議会 (SASB) のヘルスケア流通業および医療機器・医療用品に関する基準に基づいて行われ、当社はこれらの基準との整合性について報告します。

Medline は、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) の重要性を信じており、本レポートの一環として SDGs との整合性に言及しています。また、当社が SDGs の達成に有意義な貢献をすることができると考えられる分野も特定しました。

今後、当社は国際サステナビリティ基準審議会 (ISSB) により概説された枠組みに準拠していく予定です。また、Medline International B.V. (MIBV) は、2026 年に企業サステナビリティ報告指令 (CSRD) に従ってレポートを作成することが見込まれます。

SASB 指標および用語集は本レポートの付録に含まれています。すべての金額の単位は別段の記載がない限り米ドルです。すべての GHG (温室効果ガス) 等価量は、米国環境保護庁 (EPA) の温室効果ガス等価計算ツールまたは地域の同等のツールを用いて計算されています。

当社の ESG 方針および過去のレポート、データダウンロードに関する詳細については、[ESG レポートライブラリ](#)をご覧ください。本レポートに関するご質問またはご意見は ESG@medline.com までお願いします。



2023 年のハイライト



気候レジリエンスと環境への取り組み

- スcope 3 排出量の全カテゴリを網羅するため、GHG (温室効果ガス) 排出データ収集をグローバル化し、GHG 算定範囲を拡大
- 全世界で合計 3,450 万ドルの太陽光エネルギーへの投資を達成
- ニューヨーク州モンゴメリーおよびマサチューセッツ州アクスブリッジの拠点の大規模設備をはじめとする Medline の再生エネルギーポートフォリオに 37,162 枚のソーラーパネルを追加
- ESG への取り組みを強化するため、炭素会計プラットフォームに投資



責任ある製品

- ISO 14040 に基づき、欧州のドレープおよびガウンを対象に製品レベルの (LCA) ライフサイクルアセスメントを実施
- Medline ReNewal プログラムの施設を通じて、2,564,389 点の医療機器を再製造
- Medline とパートナーによる取り組みを通して、Medline ReNewal プログラムにより、1,518,654 ポンドの埋立廃棄物を削減
- Medline ReNewal プラントの規模を 2 倍にし、医療機器再処理のキャパシティを拡大



人々とコミュニティ

- 人道支援団体に \$150 万ドル相当、185 トンの医療用品を寄付
- 2,552 人の Medline 従業員が、合計 9,102 時間のボランティア活動に従事
- ドミニカ共和国に新しい手術センターを建設するために、複数年にわたり 25 万ドルを寄付
- 米国コミュニティ・インパクト助成金として 27万 5,000 ドルを支給
- 世界トップレベルの雇用主としての評価を複数獲得



強固なガバナンス

- Medline のエシカルソーシング監査チームが、645 回の社会的責任監査を実施
- 対象となる一次サプライヤーに WRAP (Worldwide Responsible Accredited Production) 認証を取得するよう奨励するため、複数年にわたるプロジェクトを継続
- Medline 従業員とバリューチェーンの従業員が職場における倫理とコンプライアンスに関する懸念を提起できる、グローバルな Open Talk コミュニケーションチャンネルを継続

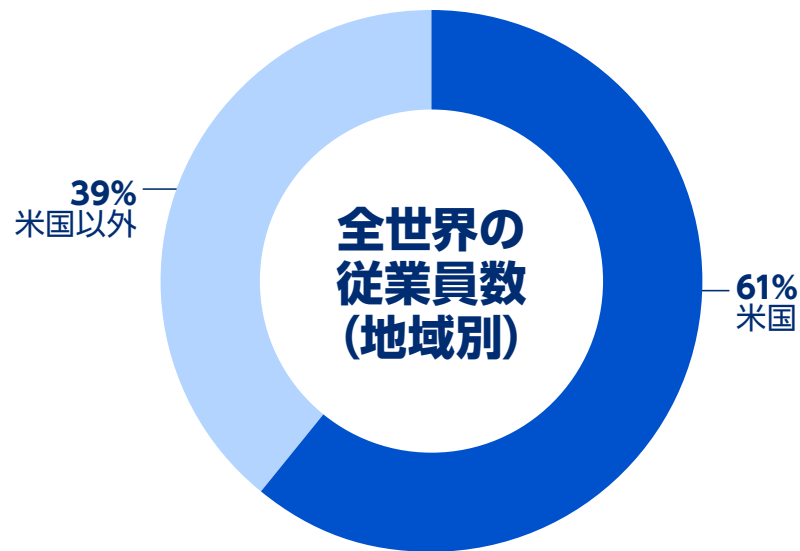
Medline について

米国イリノイ州ノースフィールドに本社を置く Medline は、臨床およびサプライチェーンに関する専門知識を有し、世界中で拠点を拡大している革新的な医療機器企業です。

Medline はヘルスケア企業です。製造、サプライチェーン、ソリューションを一貫して提供し、ヘルスケアプロバイダーの業績向上に貢献します。2023 年には、当社事業の売上の約 50% が Medline ブランドソリューションを通じて、残りの 50% はサプライチェーンソリューションを通じてもたらされました。

当社は、世界中に広がる広範な製造・販売・流通ネットワークを通じて 100 以上の国と地域でビジネスを展開しています。また、北米に 23 か所の製造拠点を有し、倉庫キャパシティも完備しており、顧客が必要なものを必要なときに必要な場所に確実に提供することができます。

Medline の従業員数は全世界で 38,199 人、うち 60% 以上が米国 Medline で雇用されています。



100 以上
ビジネスを展開する
国・地域数



38,000 人以上
全世界の
従業員数



23 か所
北米の
製造拠点数



指針

ヘルスケアプロバイダーは、コストの増大やサプライチェーンの混乱、消費者の嗜好の変化、高齢化などの複雑な課題に直面しています。医療提供は変化し続けており、Medline は医療システムと連携して臨床、財務、オペレーション上の成果を改善できるソリューションをカスタマイズしています。

パーパス

Medline は、臨床、財務、オペレーション上の成果を向上させることで、ヘルスケアプロバイダーの業績を改善することを目標としています。この価値は、世界トップレベルの製品、サプライチェーンのレジリエンス、臨床業務をはじめとする一連の包括的な組織的能力から生まれます。

価値

徹底した顧客重視

私たちは顧客と共にあり、顧客のニーズを予測し、顧客が目指すところを支持します。

機敏性&柔軟性

私たちは、迅速かつ決断力があり、変化する市場と顧客のニーズに素早く対応できる体制を整えています。

たゆまぬ問題解決

私たちは必要とされているものを提供するために、決意と忍耐力を持って率先して行動します。

成功への意欲

私たちは日々、自分自身と自分たちの価値を証明することに情熱を注いでいます。

断固たる誠実さ

私たちはオープンかつ公正であり、透明性を持って事業を展開し、誠実に行動します。

関係性の重視

私たちは、顧客および相互に信頼できる協力関係を構築することで成功を収めます。

世界レベルの製品	サプライチェーンのレジリエンス	臨床業務
医療全体にわたり、335,000 点以上の製品・ソリューションであらゆるニーズに対応	計画・調達からシステム設計、納品までのサプライチェーンマネジメントを最適化	業界の専門知識を活用し、臨床・介護業務、製品利用、業績を改善
<ul style="list-style-type: none">• Medline ブランドソリューション• サプライチェーンソリューション• 多様なグローバル製造拠点と委託製造パートナーシップ• ソフトウェアソリューション	<ul style="list-style-type: none">• 垂直統合型グローバルサプライチェーン• 個々に合わせた物流・サプライチェーンコンサルティング• 在庫・労働力の最適化• 統合サービスセンター	<ul style="list-style-type: none">• 臨床ソリューション• 臨床サービスチーム• ベストプラクティス• 教育・研修• リスク・ゲイン共有プログラム• カスタマイズソリューション

当社の事業

製品

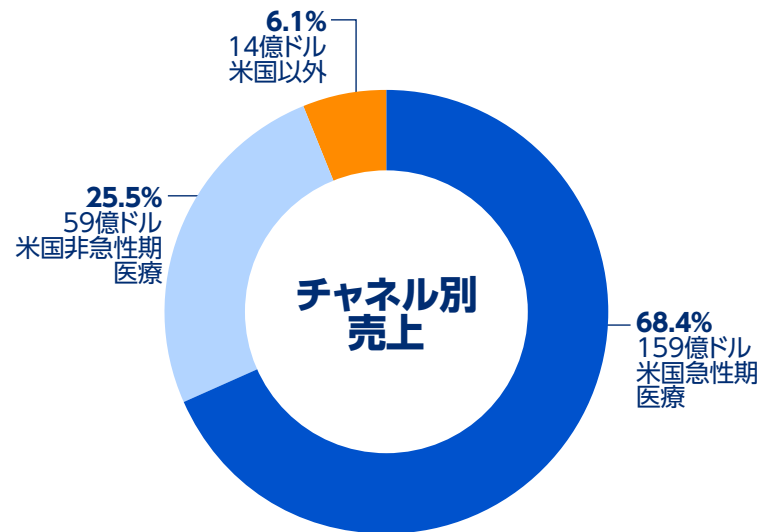
Medline は幅広い製品ポートフォリオを有し、335,000 点以上の製品を提供しています。広範な製造ネットワークとグローバルな調達能力を活用し、27 の Medline ブランド製品ラインにわたり、約 190,000 以上の Medline ブランドソリューションを提供しています。また、約 145,000 以上のサプライチェーンソリューションも提供しています。

当社は、優れた物流能力により、出荷を調整し、すべてのチャンネルに質の高いサービスを提供可能です。Medline は、急性期医療、外来・日帰り手術センター、マネージドケア、診療所、従来の急性期後医療など、医療全体にわたって、あらゆるチャンネルにサービスを提供しています。

実績

2023 年、Medline は拠点の拡大を継続し、顧客への製品提供を拡大しました。

全世界の売上は 232 億ドルに増加しました。その約 94% が米国、それ以外は国際事業によるものです。全販売チャンネルで健全な成長を遂げました。新規主要ベンダーとの契約に加え、既存顧客の成長が急性期医療分野の成長を促進し、診療所および手術センター分野は急成長を続けました。



ソリューションの分類は以下の通り

スキンケア製品	Namic	体圧分散関連製品
創傷ケア	手術室関連製品	呼吸器療法製品
麻酔関連製品	整形外科関連製品	手術準備キット
資本設備&備品	パーソナルケア製品	サプライチェーンソリューション
診断関連製品	予防医療関連製品	手術用手袋
耐久医療機器	プライマリケア関連製品	テキスタイル&環境サービス
Dynacor	Proxima	泌尿器関連
検査用手袋	ReadyCare	バスキュラーアクセス
インテリア製品	リハビリ&転倒予防関連製品	
ラボ関連製品	ReNewal	

CEOメッセージ

Medline は 2016 年から年次サステナビリティレポートを発行してきましたが、対象とする範囲が全世界となったのは昨年の ESG レポートが初めてでした。その節目となったレポートでは、環境にプラスの影響を与え、社会的公正性を改善し、優れたコーポレートガバナンスの文化を維持するための当社の取り組みの青写真が示されました。

2023 年の ESG レポートは、当社の ESG への取り組みを発展させるために過去 12 ヶ月間、当社がその青写真をどのように利用したかを説明するものです。本レポートでは、当社の事業のより多くの分野に重要な ESG 活動をどのように組み込んだかについて明確に記述しています。また、新たな ESG 規制に対応するために当社が取った対策について説明し、ESG 関連の課題に対する顧客の関心の高まりを予測しています。重要な点として、当社の事業運営と当社のバリューチェーンパートナーの事業運営における高い倫理基準と優れたガバナンスの確立についても明記していることです。

2023 年の最も誇るべき成果として、米国におけるグリーンエネルギーリーダーとしての地位を確立するためにニューヨークの物流施設に 19,203 枚のソーラーパネルの設置を完了したこと、廃棄物を最小限に抑えるためにオレゴンの医療機器再製造施設の規模を 2 倍にしたこと、One World Surgery とのパートナーシップを通じたホンジュラスへのヘルスサービスボランティアツアーの成功などが挙げられます。私は特に、世界中の 100 を超える非営利団体に対してボランティアとして時間とスキル、リソースを費やした数千人の Medline 従業員のことを誇りに思っています。

2023 年には、すべての Medline の拠点およびビジネスユニットにおいて ESG トピックに関する協力も拡大しました。当社は透明性をさらに高めるために全世界でデータを収集し、変化する ESG を取り巻く環境における整合性を確保するために 2 回目のマテリアリティ評価を実施し、地域と職能の枠を超えたワーキンググループを編成・支援し、当社の事業、顧客、および地球にとって正味プラスとなる共通の目標を打ち出し、支持を集めました。

当社は世界的ヘルスケア企業として、ESG トピックに重点を置き、Medline のすべてのステークホルダーに目に見える進歩を届けることが一層期待されていることを理解しています。また、当社は責任ある企業市民としての役割を果たすことを信条としています。どちらの面でも今後進歩を続けていくことを楽しみにしています。

会社全体で Medline の ESG への取り組みに貢献してくれる人々が一層増えていることに感謝を申し上げます。この 2023 年度版のレポートでは、当社が学んだこと、講じた対策、この心躍る ESG に対する取り組みの過程における当社の方向性について紹介しています。



Jim Boyle
最高経営責任者 (CEO)
Medline Industries, LP

「当社は世界的ヘルスケア企業として、ESG トピックに重点を置き、Medline のすべてのステークホルダーに目に見える進歩を届けることが一層期待されていることを理解しています。また、当社は責任ある企業市民としての役割を果たすことを信条としています。」

市場促進要因への対応

当社の ESG に関する決定と対策は、当社と我々の業界に影響を及ぼす市場促進要因に基づいて行われます。こうした促進要因は、関連する課題に関しての指針となり、当社の事業のサステナビリティを促進するタイムリーかつ適切、革新的な対応を行う助けとなります。

当社の主な促進要因

医療費への過度な圧力

より良い総合的な医療成果に対する需要

包括的な医療サービスを通じた医療の統合

コンシューマリズムの台頭と
消費者主導のヘルスケアに関する意思決定

医療アクセスを確実に改善する必要性

高齢化とヘルスケアへのニーズの高まり

あらゆるレベルでの人材不足

当社はこれらの市場促進要因に対し、複雑性の低減、コストに対する取り組み、包括的な医療サービスの提供という3つの重要な方法で対応します。

複雑性の低減

当社のヘルスケアソリューションは、複雑さを低減し効率を高めることを目的としたものであり、臨床医が最高レベルの成果を達成することを可能にします。当社は医療従事者が職務を遂行するのに必要な時間を削減することができる製品とソリューションの開発に重点的に投資しています。

当社独自のプログラムはプロセスを効率化し、初回で手術が正しく実施されることを確実にする標準化された一貫性のあるアプローチを生み出し、将来必要になる追加のケアを減らします。

コストに対する取り組み

当社は、最高の品質水準を維持しながら、製品とサプライチェーンを通じて世界中での医療費の高騰を緩和する機会があると考えています。この機会を念頭に置いてサービスとソリューションを設計していません。

包括的な医療サービスの提供

医療アクセスに取り組むためには、包括的な医療サービスと健康を決定する社会的要因について総合的に考える必要があります。当社は病院、手術センター、開業医の診療所、介護施設、介護付き生活施設、在宅医療、ホスピスにおいて影響力を有していることから、課題と機会に関する広い視野を得ることができます。あらゆる段階の医療を目にすることができるのは大きな強みであり、これに基づいてすべての人にとっての医療アクセスを改善する当社のソリューションが作り出されます。



ESG 担当バイスプレジデントの知見

Medline の使命は、臨床、財務、オペレーション上の成果を向上させることでヘルスケアプロバイダーの業績を改善することです。しかし、当社の顧客のニーズは、顧客がサービスを提供する人々と同じくらい多様です。当社は顧客のニーズを予測し、顧客が目標を達成する助けとなるために期待をはるかに超える対応をすることで、差別化を図ります。顧客重視意識は何世代にもわたって当社の事業の中核を成してきたものであり、当社の従業員に誇りを植え付け、顧客の成功に直接つながっています。

当社の ESG プログラムは、より健全な社会とより持続可能な地球に貢献するための当社の取り組みを明確にすることで、当社が外部環境を重視していることを示しています。私たちは ESG における大きな変化の時代にいます。規制上の要求の高まりや顧客の期待、開示義務により、環境・社会・ガバナンスのための活動を事業全体に組み込む必要性が加速しています。Medline にとって、これは当社の ESG 戦略とビジネス上の目標の整合性を深めることを意味します。当社は最新の ESG の展開を常に把握し、当社の事業とセクターに関連する影響と貢献を分析し、確実に効果的かつエシカルに事業を展開し続けることができるようにします。

「当社の ESG プログラムは、より健全な社会とより持続可能な地球に貢献するための当社の取り組みを明確にすることで、当社が外部環境を重視していることを示しています。」

当社を取り巻く環境の変化は、ぜんそく有病率の増加、ライム病やマラリアの再流行などの顕著な健康への悪影響と同時に起こっています。当社の規模は拡大し続けていますが、それでも当社はカーボンフットプリントを削減し、気候変動への寄与を抑えるべく努力をしています。

製品の安全性に関して、当社の工程は米国 FDA および世界のその他の地域の同等の規制機関により定められている基準に基づいたものです。当社には、確立されたポリシーと手順の体系があり、規制機関の指針を厳格に遵守しています。また、規制が変化し、当社の事業が成長するにつれて、当社の工程も進化していかなければならないことを認識しています。

DEI(ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン) は、Medline が重視すべきもう一つの重要な分野です。当社は、当社が事業を行うコミュニティを完全に代表する企業として多様かつインクルーシブな労働力を創出することに尽力しています。当社は Medline のすべての従業員が当社の事業にユニークな視点と経験をもたらしてくれることを理解しており、ホリスティック医療ソリューションの開発に取り組む上で従業員のインサイトを重視しています。

既存のものも新しいものも、当社の ESG ポリシーおよび ESG のための活動をさらに改善し、正式なものとするための取り組みは、実を結び続けています。当社のグローバルチームは、当社の市場全体で有意義な変革と介入を実施するために一丸となって取り組んでおり、私たちは将来当社の事業を導いてくれる市場別 ESG データの収集・報告を行うべくグループとして協力しています。

ESG レポートで、当社は気候レジリエンスと環境への取り組み、責任ある製品、人々とコミュニティ、強固なガバナンスという 4 つの主要な柱についてステークホルダーに透明性を提供することを目指しています。また、本レポートでは、当社が達成した素晴らしいマイルストーンやこの一年で学んだ注目すべき教訓について振り返ることができます。当社は 2023 年に達成した成果を誇りに思っており、進行中の進歩についても楽しみにしています。



Francesca Olivier
ESG 担当バイスプレジデント

ESG のガバナンスとアカウンタビリティ

Medline では、ESG は組織の最も高いレベルで戦略と意思決定に組み込まれています。

ESG に関するガバナンスとアカウンタビリティに対する当社のアプローチは、以下の 2 つの主要グループの活動によって主導されています。

- 執行部とともに指導と監督を行う当社の取締役会
- 当社の全体的戦略を策定・実行する当社のエグゼクティブスポンサーとグローバル ESG チーム

取締役会と執行部

当社の取締役会は組織内の最高レベルの意思決定機関です。執行部とともに、当社のグローバル戦略の監督を行います。執行部のメンバーには、最高経営責任者、最高執行責任者、最高財務責任者が含まれます。ESG は取締役会の議題です。

エグゼクティブスポンサーとグローバル ESG チーム

Medline の最高法務責任者兼取締役会秘書役は、ESG 活動のエグゼクティブスポンサーとしての役割を果たし、ESG 担当バイスプレジデントが率いるグローバル ESG チームと緊密に連携します。

グローバル ESG チームは、当社のグローバル ESG 戦略を策定・実行し、規制の変更を監視し、それに応じて戦略と業務計画を調整し、社内で当社の取り組みについての報告を行います。

グローバル・アラインメント・コミッティと部門・部署リーダーシップ

確実にグローバル戦略が状況に応じた当社の市場のニーズを反映したものとなるようにするために、当社はオーストラリア/ニュージーランド、アジア新興市場、カナダ、EMEA (欧州、中東、アフリカ)、日本、LATAM (ラテンアメリカ)、米国の代表者で構成されるグローバル・アラインメント・コミッティ (GAC) を発足しました。上記の GAC の代表者は、当社の戦略との整合性を図るために地域のリーダーと連携します。

当社の ESG 担当バイスプレジデントは、部門および部署の主なリーダーと四半期に一度ミーティングを行います。

ESG 規制コンプライアンス

2026 年から、MIBV が EU の CSRD に従ってレポートを発行することが見込まれます。2023 年に Medline は MIBV の組織に最も関係のある影響、リスク、機会のダブルマテリアリティ評価とそれに対応するデータ開示を開始しました。当社は欧州サステナビリティ報告基準 (ESRS) に照らして MIBV を分析する上で社内外のステークホルダーから情報を集めており、独立した第三者機関による吟味された方法に基づきマテリアリティに関する決定を行います。

ESG データガバナンス

Medline は、成長し、進化する規制状況に従う必要性を認識しており、当社のチームは非財務業績評価指標を評価する、利用しやすく信頼できるデータを管理する方法を模索しました。2023 年に当社は非財務報告に関連するデータインテグリティとデータガバナンスの緊急の必要性を強調するために世界的な意識向上キャンペーンの実施を開始しました。いくつかの主要なマイルストーンを達成しました。

- 信頼性の高い管理、監査可能な ESG データを生み出す強力なインフラを構築するためにソフトウェアスイートに投資
- データ品質におけるデータ所有者の役割を強化し教育するために、明確なデータの役割と責任、管理課程を定義
- グローバル規模でデータマネジメントを管理するために標準化されたプロセスとポリシーの実施を継続



マテリアリティに対するアプローチと優先トピック

当社は、ESG 戦略にマテリアリティの概念を取り入れ、当社の事業とステークホルダーに最も関連性の高い課題について報告することの重要性を認識しています。

Medline は、ESG 優先課題の評価を 3 年ごと、または事業で ESG 優先課題に影響を及ぼし得る大きな変化があった場合は、必要に応じて実施しています。評価実施年度以外の年には、優先トピックが確実に当社の事業活動に合致し、広く受け入れられているベストプラクティスを反映したものになるよう、優先トピックの見直しを行います。

最新の全社評価は 2022 年に実施されました。同評価では、Medline のグローバルバリューチェーンに最も関連し、最も重要な ESG トピックを特定しました。評価の実施にあたり、当社はグローバル・レポーティング・イニシアティブ (GRI) と SASB (現在は国際財務報告基準財団の一部) が提唱するマテリアリティに対するアプローチに従いました。

これらのアプローチに依拠し、当社は GRI、SASB のヘルスケア流通業、医療機器・医療用品に関する基準、Practice Greenhealth などの業界団体をはじめとするいくつかの情報源を用いて ESG トピックを特定しました。

さらに、当社は各候補トピックの顧客、投資家、従業員、およびその他のステークホルダーにとっての重要性について検討しました。また、リスクベースのアプローチを用いて考えられる影響の大きさの評価も行いました。この過程の最後に、当社は 17 の ESG 優先トピックを特定しました。

環境	社会	ガバナンス
GHG (温室効果ガス) 排出: 当社はカーボンフットプリントの削減に取り組んでおり、お客様にも同様に実現して頂けるよう支援しています。	従業員の健康と安全: 当社はすべての従業員にとって安全で健全な職場環境の維持に尽力しています。	エシカルソーシング: 当社は、サプライチェーン全体で基本的人権を尊重し、重視し、支持します。
気候関連リスク: 当社は、気候変動が環境にもたらすリスクを認識し、そのリスクを考慮して事業場の意思決定を行うよう努めます。	従業員エンゲージメント: 当社は、快適で豊かな職場を構築するよう努めます。	企業倫理: 当社は、必要なことだけでなく、正しいことを行います。
大気排出: 当社は、工場や車両などによる大気環境問題に積極的に取り組んでいます。	DEI (ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン): 当社は、多様性に富んだインクルーシブな職場の構築・維持を目指します。	データプライバシーとセキュリティ: 当社は、情報ライフサイクルを通じて個人データを守り、保護します。
廃棄物マネジメント: 当社では、廃棄物による環境への影響を削減するための方針とプログラムを構築しています。	製品の安全性: 当社は、製品の健康上および安全上のリスクを最小限に抑え、適用される規制と基準を確実に遵守します。	製品表示とマーケティング: 当社は、マーケティングステートメント、広告、製品・サービスの表示において、透明性が高く、正確かつ包括的であることを目指しています。
水および排水マネジメント: 当社は、事業活動全体で水の消費量と排水量を削減する機会を検討する予定です。	コミュニティエンゲージメント: 当社は、コミュニティにおいて積極的に責務を果たし、貢献すべく努力しています。	
持続可能な製品・プログラム・パッケージング: 当社は、持続可能な製品・プログラム・パッケージングの提供を拡大しています。	医療アクセスと適正な医療費: 当社は、特に低資源国に住む人々の間で、当社製品およびサービスへの幅広いアクセスを確保したいと考えています。	
	サプライヤーの多様性: 当社は、小規模で多様性のあるサプライヤーの基盤を強化・拡大すべく尽力しています。	

戦略的枠組み

2022年に実施した評価の一環として特定されたトピックを4つの柱で分類しました。これらは、当社の戦略的アプローチの基盤となり、当社のESG目標に合致した重点分野です。当社はこれら4つの柱に基づいて報告書を作成しました。

ESGが目指すもの

人と地球のために、より持続可能な医療を実現する

4つの柱

- 気候レジリエンスと環境への取り組み
- 責任ある製品
- 人々とコミュニティ
- 強固なガバナンス

気候レジリエンスと環境への取り組み

当社は、天然資源を保護し、廃棄物全体を削減することを目的とした、実用的なソリューションを生み出すとともに、確立されたグリーンテクノロジーと新しいグリーンテクノロジーの両方を追求することにより、環境に配慮した持続可能なビジネスを構築することをお約束します。また、当社はカーボンフットプリントの削減に取り組んでおりお客様にも同様に実現して頂けるよう支援します。

優先 ESG トピック：

- GHG (温室効果ガス) 排出
- 気候関連リスク
- 大気排出
- 廃棄物マネジメント
- 水および排水マネジメント

責任ある製品

私たちは、患者さんと環境の双方にとって安全でクオリティの高い製品を提供することに注力しています。当社は、製品表示に透明性を保ち、責任あるマーケティング活動に取り組んでいます。

優先 ESG トピック：

- 製品の安全性
- 持続可能な製品・プログラム・パッケージング
- 製品表示とマーケティング

人々とコミュニティ

当社は、従業員、コミュニティ、サプライヤー、エンドユーザーにプラスの影響を与えたいと願っています。これを当社は、職場において最高水準の安全と健康を維持し、従業員が互いにつながり、能力開発を行う機会を創出し、DEI (ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン) を推進し、当社が事業を行っている全世界のコミュニティにおいて健康の公平性に取り組んでいます。

優先 ESG トピック：

- 従業員の健康と安全
- 従業員エンゲージメント
- DEI
- コミュニティエンゲージメント
- 医療アクセスと適正な医療費
- サプライヤーの多様性

強固なガバナンス

私たちは、必要なことだけでなく、正しいことを行います。当社の事業、従業員、サプライヤーに対して高い倫理基準を求めます。

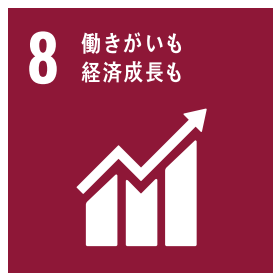
優先 ESG トピック：

- エシカルソーシング
- 企業倫理
- データプライバシーとセキュリティ

国連「持続可能な開発目標」(SDGs) との整合

SDGsは、当社がESG優先課題とイニシアチブを構想する上での指針となっています。17のSDGsのうち、当社の長期戦略と最も合致していると考えられる4つの優先目標を特定しました。

4つの主要なSDGs



すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

ヘルスケア企業として、Medline はSDGsの目標3と最も密接に関係しています。包括的な福利厚生、慈善事業への寄付、ボランティア活動は、Medlineファミリーや従業員が生活し、働いているコミュニティ、そして健康格差が最も大きい地域の健康とウェルビーイングを支えています。全世界の健康の公平性を推進するために、当社は最も困窮している人々を支援する信頼できる人道支援団体に、必須の医療機器・医療用物資を寄付しています。また、スキルベースのボランティアプログラムを通じて時間と能力を分かち合い、リソースの少ない環境において、サプライチェーン最適化、周術期の効率化、健康教育に重点を置いたプロジェクトを推進しています。



働きがいも経済成長も

すべての人々のための包摂的かつ持続可能な経済成長、雇用およびディーセント・ワークを推進する

当社は、「国連ビジネスと人権に関する指導原則(UNGPs)」をはじめとする、広く認知された国際人権基準に従うことで、従業員とサプライヤーのディーセント・ワークと経済成長に貢献すべく努めています。当社の行動規範は、差別禁止や職場の安全性などの要素を通じて他者を尊重するという当社のコミットメントを示したものであり、Medlineは強制労働、児童労働、基本的な人権を侵害する慣行を事業全体で禁止しています。当社のサプライヤー行動規範は、これらの要件をグローバルサプライチェーンまで拡大したものです。このコミットメントを推進するため、2022年、手袋部門は医療機器セクター初のWRAP認証プロジェクトを開始しました。WRAPは、国際的に認められている社会的コンプライアンス認証機関であり、工場が倫理的な労働基準を遵守しているかどうかを独立的かつ客観的に検証します。さらに、Open Talkプログラムにより、Medlineとサプライヤーの従業員は、職場における懸念を秘密厳守で表明することができます。

国連「持続可能な開発目標」(SDGs) との整合



人や国の不平等をなくそう

国内および国家間の不平等を是正する

Medline は、事業展開力と影響力、雇用を拡大し続けており、現在全世界の拠点で 38,199 人の従業員を有しています。当社は DEI を尊重する企業文化で SDGs 目標 10 を支援しようと努めています。従業員にキャリア開発の機会、社内の人材流動性、成長機会提供することは、多様な人材を引き付け、維持するための鍵だと考えています。インクルーシブな職場環境を育むために、Medline は従業員リソースグループ(ERGs) の設立を奨励し、意識を高めると共に理解促進に努めています。

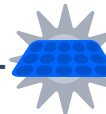


気候変動に具体的な対策を

気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

環境パフォーマンスを監視・改善し、環境汚染を防止し、環境を保護する、環境的に持続可能なビジネスは、健康上の成果に良い影響をもたらすと Medline は確信しています。そのため、当社は、環境への影響を抑制し、お客様にも同様の取り組みをして頂けるよう支援するというコミットメントを通じて、SDGs 目標 13 を支持しています。当社は、イノベーションを通じてカーボンフットプリントを削減し、天然資源を保護する方法を積極的に模索しています。物流センターでの LEED 認証の取得を目指しており、世界の 10 拠点で ISO 14001 認証を取得しています。スコープ 3 排出量を対象とするために、当社は最近温室効果ガスのデータ収集をグローバル化し、測定範囲を拡大しました。2023 年に、2 つの太陽光発電設備プロジェクトを完了しました。そのうちの一つは、ニューヨーク州知事室によると、同州最大の屋上太陽光発電設備となりました。当社は、今後の ESG への取り組みを定量化、測定する能力を強化するため、炭素会計プラットフォームへの投資を行いました。

37,000 枚以上
2023年に全世界で
設置されたソーラー
パネルの枚数



10 か所
ISO 14001 認証
取得済みの
グローバル拠点



7 つ
米国の従業員
リソースグループの数



気候レジリエンス と環境への 取り組み

当社は、当社の事業が環境に与える影響を抑制し、顧客にも同様の取り組みを行えるよう支援することに尽力しています。2023年に当社は、持続可能な環境マネジメントとイノベーションを通じて当社のカーボンフットプリントを削減し、天然資源を保護する方法を模索しました。

2023年のハイライト

- スコープ3の排出の全カテゴリを網羅するためのGHG（温室効果ガス）排出データ収集のグローバル化とGHG算定範囲の拡大
- 全世界で合計3,450万ドルの太陽光エネルギーへの投資を達成
- ニューヨーク州モンゴメリーおよびマサチューセッツ州アクスブリッジの拠点の大規模設備をはじめとするMedlineの再生エネルギーポートフォリオに37,162枚のソーラーパネルを追加
- ESGへの取り組みを強化するため、炭素会計プラットフォームに投資

環境マネジメントと認証

Medline は環境汚染を抑制し、環境を保護する、環境に配慮した持続可能な事業の構築に尽力しています。

当社は責任ある環境活動を取り入れており、カーボンフットプリントを削減し、エネルギー効率を改善し、水の使用を抑制し、廃棄物を最小限に抑えるための戦略を実施しています。当社の今日の取り組みが当社組織の未来に目に見える影響を及ぼし、より健全な環境に確実に貢献し、それが健康上の成果に直接の影響を与えると当社は考えています。

Medline は、責任ある環境活動を行い、環境パフォーマンスを管理・改善するために国際的に認められている基準に従っています。

環境管理の概要

GHG（温室効果ガス）排出：

当社はカーボンフットプリントの削減に取り組んでおり、お客様にも同様に実現して頂けるよう支援しています。

気候関連リスク：

当社は気候変動が疑う余地のないリスクをもたらすことを認識しており、ビジネス上の意思決定をする際にこうしたリスクの評価を行うためのプロセスの構築に尽力しています。

大気排出：

当社は、製造施設と物流用車両全体で大気質への影響を積極的に軽減しています。

廃棄物マネジメント：

当社の廃棄物マネジメントアプローチは、事業活動により発生した有害廃棄物および無害廃棄物の処分に関連する環境影響を低減することを目指すものです。廃棄物マネジメントの取り組みには、廃棄物の処理、取り扱い、保管、処分、規制遵守が含まれます。

当社は追加で実施する必要がある廃棄物削減プロジェクトを明らかにするために職能の枠を超えたワーキンググループの計画を立てています。同グループは当社の現在の環境マネジメントのための取り組みを基に、有害廃棄物および無害廃棄物に対する当社のアプローチの一元化・効率化に取り組みます。

水および排水マネジメント

当社は、事業全体で水の消費量と排水量を削減する機会を模索する予定です。

環境認証

自然環境の保護と改善に対する当社のコミットメントは、環境パフォーマンスを管理・改善するためのプロセスを定めた国際的に認められている基準である ISO 14001 環境マネジメント認証を維持している点に反映されています。

2023 年時点で 10 の Medline 施設が ISO 14001 認証を取得しています。

認証取得済み施設には以下が含まれます。

- イリノイ州マンダライン
- ジョージア州リティア・スプリングス
- イリノイ州ノースフィールド
- イリノイ州ウォキーガン (2 施設)
- スロバキア、バーノウツェ・ナド・ベブラヴォウ
- フランス、シャトブリアン
- イタリア、フィレンツェ
- ドイツ、クレーヴェ
- スペイン、マドリード

また、Medline は物流センター向けに LEED 認証の取得を積極的に目指しています。

エネルギーと気候

医療ほど環境と本質的に関連している業界はほとんどありません。他のセクターは気候変動の緊急性に気付いていない可能性があります、病院と保健システムは患者とコミュニティへの影響を毎日目にしています。

深刻な混乱をもたらす異常気象現象以外に、気候変動は清浄な大気系と水系という良好な健康状態に欠かせない要素に影響を与えています。世界保健機関は、気候変動が2030年から2050年の間にさらに25万人の死をもたらすと見積もっています。

気候変動がもたらす悪影響を軽減するために、Medlineは、再生エネルギーへの移行の推進、GHG(温室効果ガス)排出の測定と削減、エネルギー消費量の低減、当社の製品および工程が環境に及ぼす影響の削減を含む複数の柱からなるアプローチを採用しています。

エネルギー移行

Medlineは、再生エネルギー資源に重点的に投資を行っており、当社のポートフォリオには2か所の地熱発電施設と、10か所の施設に設置された62,087枚のソーラーパネルから成る大規模な太陽光エネルギー基盤が含まれます。再生エネルギーへの初期投資以降、Medlineは全世界で3,450万ドルを太陽光エネルギーに投資しました。2023年に、当社の太陽光エネルギーポートフォリオは、1,238世帯に1年間電力を提供するのに十分な15,046,831 kWhの再生エネルギー

を発電しました。同じく2023年に、知事室によるとニューヨーク州最大の屋上太陽光発電プロジェクトをモンゴメリーの物流センターに設置したことで、Medlineは19,203枚のソーラーパネルをポートフォリオに追加しました。このコミュニティ設備は2023年に4,252,215 kWhを発電し、これは349世帯の電力を賄うのに十分なクリーンエネルギーです。

場所	ソーラーパネル枚数	投資額	2023年1月～12月発電量 (kWh)	システム稼働日
ニューヨーク州モンゴメリー	19,203	11,500,000 ドル	4,252,215	2023年5月26日
マサチューセッツ州 アクスブリッジ	16,219	10,000,000 ドル	-	2023年12月18日
フロリダ州オーバーンデール	5,077	2,773,000 ドル	2,231,327	2018年12月27日
カリフォルニア州トレーシー (サイト 2)*	3,914	2,155,000 ドル	2,041,555	2019年4月17日
カリフォルニア州トレーシー (サイト 1)*	3,140	1,985,000 ドル	1,637,123	2017年2月14日
カリフォルニア州リアルト	3,152	1,882,000 ドル	1,597,572	2018年2月23日
イリノイ州ノースフィールド	2,754	1,690,000 ドル	1,138,837	2020年1月23日
ドイツ、クレーヴェ	3,770	1,200,000 ドル	985,020	2017年1月28日
日本、愛西市**	3,405	868,000 ドル	502,482	2016年9月1日
オーストラリア、シドニー	1,344	406,000 ドル	660,700	2019年4月30日
フランス、シャトーブリアン***	109	40,000 ドル	-	2022年10月1日

* トレーシーのサイト 1 および 2 は、同じ場所に設置されている2つの施設です。

** このサイトには1,740枚のソーラーパネルが追加されており、2023年12月から稼働しています。

*** 本レポート作成時点で、このサイトのkWhデータは入手不可能でした。



米国と日本におけるソーラープログラムは、再生エネルギーに対する Medline のコミットメントを実証しています。

2023 年だけで、Medline は成長し続ける事業において再生エネルギーを拡大するという取り組みにおいてポートフォリオに 37,162 枚のソーラーパネルを追加しました。

特に、Medline はニューヨーク州モンゴメリーの物流センターの屋上に太陽光発電設備の設置工事を完了しました。ニューヨーク州知事が Medline の代表者たちと工事完了を祝賀し、モンゴメリープロジェクトはニューヨーク州最大の屋上太陽光発電設備であると発表しました。1,150 万ドルの投資により、世界中に設置されている Medline のソーラーパネルの合計枚数に 19,203 枚のソーラーパネルが追加されました。この設備は、2023 年に 4,252,215 kWh 発電しました。

一年の締めくくりに、1,000 万ドルの投資により Medline のマサチューセッツ州アクスブリッジの拠点の屋上に太陽光発電設備が設置され、世界中に設置されている Medline のソーラーパネルの合計枚数に 16,219 枚のソーラーパネルが追加されました。さらに、当社の日本のチームが日本の愛西市に設置されている既存の再生エネルギー設備に新たに 1,740 枚のソーラーパネルを追加しました。

「環境への配慮は、『事業を行うためのコスト』である必要はありません。Medline では環境に配慮した持続可能でコストの削減になることを多く行っています。ソーラーエネルギーがその良い例です。」

- サステナビリティ担当取締役
Jim Burgess

エネルギーと気候

GHG (温室効果ガス) 排出

2023年に、Medlineは当社初のグローバルGHG排出インベントリを完成させました。これにより、当社の全世界での事業とバリューチェーン全体におけるスコープ1排出とスコープ2排出、さらにスコープ3排出の全カテゴリを初めて明らかにすることができました。当社の北米事業と欧州事業が当社の総排出量の大部分を占めていますが、当社のグローバル事業のデータと追加のスコープ3データを収集することで、排出量削減の努力をどこに集中させるべきかについて全体像をより把握できるようになるでしょう。

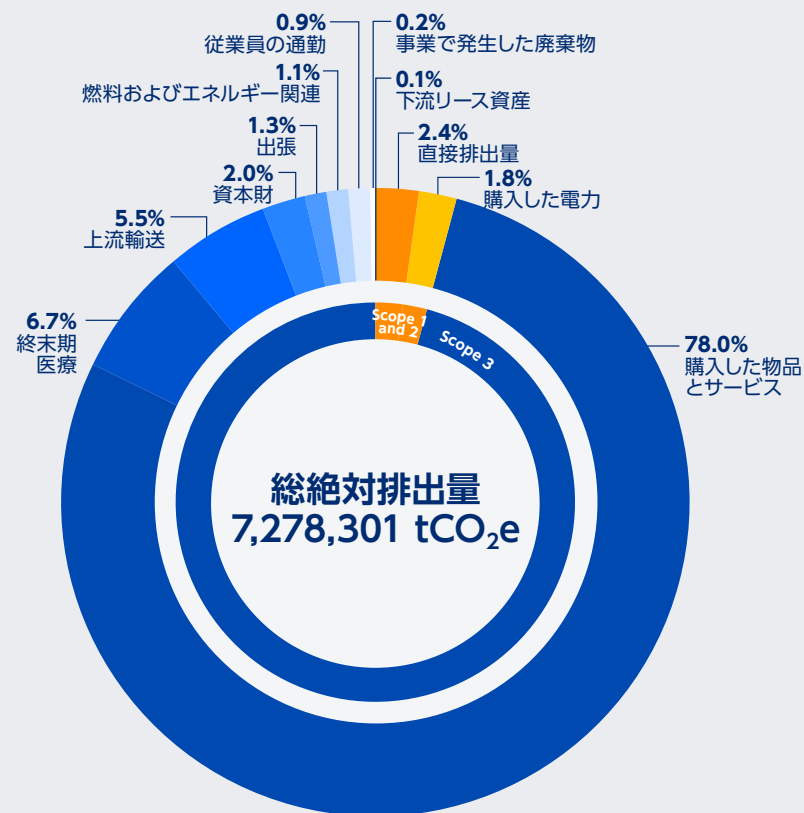
2023年の絶対排出量

スコープ	2023年のCO ₂ e 絶対排出量 (tCO ₂ e)
スコープ1	173,837
スコープ2	131,904
スコープ3	6,972,560

この包括的なグローバルカーボンインベントリは、利用可能な最も正確なグローバルデータを用いてすべてのスコープおよびカテゴリの排出量を明らかにすることができます。透明性を高めるための当社の取り組みは既に注目に値するデータ改善をもたらしています。例えば2023年以前は、当社の排出量は数多くの地域のシステムを用いて算出されていましたが、2023年は、新しい国際財務管理プラットフォームと炭素会計プラットフォームへの投資を生かしてデータの質を高めました。

Medlineの全世界での排出量の大部分は当社の強固なサプライチェーンによるものであり、購入した物品とサービスが総排出量の78%を占めています。また、当社には事業からの直接排出量を削減し、スコープ1とスコープ2の排出量を低減する大きな機会があります。前年比較を行う準備はまだ整っていませんが、今後はそうした比較を行う予定です。

2023年排出量



エネルギーと気候

レジリエンスの構築

2023年に、当社は製造部門、流通部門、およびMedlineが保有する輸送トラック団であるMedTransの代表者からなる職能の枠を超えたワーキンググループを編成しました。このグループは、特定の事業環境に適用する重要業績評価指標と排出量削減のための取り組みを設定することを目的に、米国で最もエネルギー消費量の多い4つの拠点を特定しました。

このボトムアップアプローチにより、各拠点が直面している課題に取り組むための革新的な方法を見つけ、厳格なアプローチを強制するのではなく学んだことをより大きなグループに共有することができます。

また、気候変動を抑制する当社の計画には、グリーンビルディングの建設やエネルギーの節約、廃棄物削減が含まれます。当社は以下の方法でこれを実行します。

- LEED規格に従った物流スペースの設計
- 生産・倉庫エリアにおけるLED照明の設置
- 資源集約度を低下させるための工程と機器の近代化
- 製品およびパッケージングにおけるリサイクル不可能な材料の使用量の削減
- ジョージア州リシアスプリングスの施設の埋立地からの廃棄物を転換するためのプログラムの立ち上げ



環境スチュワードシップ

当社は気候変動と当社の事業が自然環境に及ぼす影響の間の直接的なつながりを理解しているため、排ガスマネジメント、水マネジメント、廃棄物マネジメントのためのプロセスの継続的な改善を目指しています。

排ガス

排ガス削減に対するコミットメントの一環として、Medlineは専用のMedTransにおいてハイブリッド車、バッテリー式電気自動車、フル電気自動車の使用を検討しています。

MedlineはMedTransにおいて、様々な用途での電気自動車を試験的に運用しています。Volvo VNR大型電気トラックは、Orange EVターミナルトラックと共にカリフォルニアで運用されています。ニューヨーク州ブロンクス支社では、短距離輸送にXOS電気パーセルバンが使用されています。排出量削減に加え、ドライバーたちはクリーンで静かな運転を楽しんでいます。規制と電気自動車に対するインセンティブを拡大している州が一層増えてきている中で、当社はどのように当社の事業と環境にとって理にかなう形で電気自動車を増やすことができるか念入りに検討しています。

輸送回数と移動距離を減らすために、当社はテクノロジーに投資し、最良事業事例を活用し、ドライバー研修を実施しました。

当社の輸送カーボンフットプリントと排ガスを削減するために進行中の取り組みには以下が含まれます。

- クラス最高の燃費を持つ大型ディーゼルトラックの購入
- 走行距離を減らし、トレーラー利用度を改善することを目的としたダイナミックルートプランニングシステムの利用
- 安全性を高め、燃料使用量を最大化するためにトラック速度を時速65マイルに制限
- 激しい加速やハイスピード、長時間のアイドリング、急停止を避けることを目的とした運転のモニタリング

水および排水マネジメント

当社は事業全体で水の消費量と排水を削減するためのグローバルプランを策定する予定です。

廃棄物マネジメント

フラウンホーファー環境・安全・エネルギー技術研究所が2021年に実施した研究により、単回使用医療機器による地球温暖化への影響は、機器の再製造を行うと半分に低減されることが示されています。

医療機器再製造に対する関心の高まりがきっかけとなり、Medlineは米国オレゴン州のMedline ReNewal再製造施設の規模を2倍に拡大しました。2023年だけで、ReNewalはMedlineの再製造施設で2,564,389点の医療機器の再製造を行いました。

ジョージア州リシアスプリングスの当社製造施設は、2023年に廃棄物をリサイクル業者へと送ることで埋立地に送られる廃棄物を減らすためにリサイクルプログラムを開始しました。開始以降、同プログラムは埋立地に送られる廃棄物の量を39%削減し、廃棄物の流れを変えるためにスクラップサプライヤーとの契約の再調整を積極的に行っています。

当社の有害廃棄物と無害廃棄物の流れは社内ですら適切に取り扱われており、地域と連邦の規則を遵守したものと なっています。

世界での活動

オーストラリア・ニュージーランド

森林再生プロジェクトが炭素排出量を相殺

Medline オーストラリアと Medline ニュージーランドは、当社のツリー・パー・コンテナコミットメントを達成するために非営利環境団体の Greenfleet とパートナーシップを結んでいます。森林再生の取り組みを支援するために、同地域で輸出入されたコンテナ一つごとに木が一本地域の森に植林されます。パートナーシップが開始されて以降、Medline は 4,000 本以上の木の復元を支援し、これにより約 1,504 トンの排出炭素が回収されるでしょう。これは、一年間同地域の道路から 340 台以上の平均的な車を取り除くのに相当します。



欧州

MedShake プロジェクトが物流の環境影響を軽減

下流の炭素排出量を抑制する取り組みにおいて、欧州の Medline の製品・輸送チームは、主要製品カテゴリの製造および流通を最適化すべく取り組んでいます。これまで、Medline ヨーロッパは、製品が複数の経由地を経てから顧客のもとに届く一元化されたプロセスを用いていました。サービスを向上させ、物流に伴う環境への影響を低減するため、Medline は各国の専用施設に投資し、複数の経由地に何度も立ち寄ることを避けることができました。合計で同プロジェクトは一年あたりで 507,408 km のトラック走行距離の削減をもたらしました。これは、世界 12.7 周分に当たり、一年あたり 1,394 トンの等価二酸化炭素の削減に相当します。

インド

グリーンプロジェクトへの慈善投資

2023 年 7 月に、Medline インドはブネー地域の生物多様性公園において植林活動を行いました。50 人のボランティアが約 2,000 本の在来種の木を植林しました。

日本

職場をより持続可能なものに

2023 年 10 月の東京オフィスのリノベーションは、職場をより持続可能なものにする機会となりました。既存の家具を捨てるのではなく、173 脚の椅子、77 台のデスク、67 台のキャビネットが洗浄、修復、または再利用されました。購入された新しい家具は、日本のグリーン購入法の下で環境に配慮していると認証されたものです。また、オフィス照明を蛍光灯から LED に切り替え、照明の電気消費量をおよそ 60% 削減、年間 10.4 トンの CO₂ 排出量削減が見込まれます。

メキシコ

凝縮水を利用して節約

夏季を見越して、Medline メキシコはエアコンの凝縮水を集め、自治体の水道施設からの水を使用せずに Medline の庭に灌水しました。この取り組みにより、一年を通して約 153,000 リットルの水と 18,000 ペンの節約につながりました。

米国

全米植樹祭財団を支える Medline による寄付

2023 年に、Medline Foundation による寄付が、ジョージア州の森林伐採とカリフォルニア州北部で発生した壊滅的なディキシー・ファイアにより損なわれた重要な生態系の回復を助けるための植樹を支えました。今後、新しい木々が気候変動に大きく寄与する二酸化炭素を隔離するでしょう。植樹された木々は、野生生物を復活させ、浸食の防止にも役立つでしょう。全米植樹祭財団の理事長である Katie Loos は、Medline の支援が森林地の再生を助けてくれるだろうと述べました。



責任ある製品

当社は、安全かつ持続可能な高いクオリティの製品の製造・流通に尽力しています。

当社の製品安全性プロセスは、厳しく管理されており、米国 FDA と当社が事業を展開している国における同等の機関によって定められているすべての適用される規制遵守基準を満たしています。同様に、製品表示とマーケティングの手法は、適用されるすべての国際法を遵守しています。

当社は一貫して、いくつかの設計・パッケージングの取り組みを通じて、製品の循環性とサステナビリティの改善に努めています。

2023 年のハイライト

- ISO14040 に基づき当社の欧州のドレープおよびガウンを対象に製品レベルの LCA (ライフサイクルアセスメント) を実施
- Medline ReNewal プログラムの施設を通じて 2,564,389 点の医療機器を再製造
- Medline とパートナーによる取り組みを通して、Medline ReNewal プログラムにより 1,518,654 ポンドの埋立廃棄物を削減
- Medline ReNewal 工場の規模を2倍にし、埋立地に行くはずだった医療機器を再製造する能力を向上

製品の安全性、表示とマーケティング

製品の安全性

当社のコーポレート品質機能には、品質保証、品質管理、規制対応、研究開発が含まれます。

- **品質保証**：Medline 製品が、厳しい製品品質管理をはじめとするすべての関連する要件および基準を満たしている、または上回っていることを保証します。
- **品質管理**：流通前の最終チェックを行い、設計・検証プロセスにより顧客のニーズを満たす製品ができていることを確認します。
- **規制対応**：FDA、ISO、および世界各地のその他の規制機関が定める複雑な要件に遵守することを確保します。
- **研究開発**：設計工学、人間工学、検証 / 妥当性確認テストを組み合わせることで、品質を作りこみます。

これらのチームは、能力と経験を有する化学者、微生物学者、統計学者、正看護師、薬事専門家、品質専門家、エンジニアで構成されています。チームメンバーは協力して、当社の品質基準を守り、継続的に改善しています。当社の品質プロセスを実施・維持する技術者、検査員、コーディネーター、事務員のチームがメンバーを支援しています。

当社の主要な品質システム認証には以下の3つの重要な認証が含まれます。

- 米国 FDA、カナダ保健省、オーストラリア TGA、ANVISA (ブラジル国家衛生監督庁)、日本の PMDA (医薬品医療機器総合機構) により認められている一連の厳しい品質システム要件である MDSAP (医療機器単一調査プログラム)。この認証を取得するためには、医療機器メーカーは独立認証機関である監査法人によって実施される厳しい監査を毎年受けなければなりません。
- 国際的に認められている品質システム認証プログラムである ISO 13485
- 品質システムが欧州 MDR 品質システム (EU MDR) 規則 (EU 2017/745, 付録 XI パート A) を満たしていることを実証する EU 品質保証証明書

当社は、製品品質・コンプライアンス強化のため、人間工学の向上、デザインの強化、私見基準の最新レビュー、および主要な業界ワーキンググループへの参加を含むいくつかの取り組みを行っています。2023年に、当社は MDSAP、MDR、ISO 13485 の監査をはじめとする様々な規制機関から素晴らしい監査結果を得ました。品質システム監査の期間中、どの拠点でも重要な監査指摘事項はありませんでした。

当社の製品開発ライフサイクルは、コンセプトからプロトタイプング・実現可能性検証までの段階から製造までであり、製品チームとマーケティングチームの間の緊密な機能横断的な連携を必要とします。

2023年に約2,600万ドルをかけて米国イリノイ州マンダラインにある研究所および試験施設のアップグレードを完了したことで、Medlineの製品開発は大きな進歩を遂げました。これらの施設のおかげで、現在 Medline は高度微生物学的試験環境や高度分析化学ラボ、アップグレードされた材料試験、最先端の製剤ラボ、無菌パッケージングデザイン機能を利用することができます。

当社の研究開発チームは、新製品開発の取り組み、製品強化、マルチソーシング、人間工学の活動を常に進めています。

製品の安全性、 表示とマーケティング

製品表示とマーケティング

製品・サービスの表示、広告、プロモーションについて規定した Medline の手順および指針は、米国 FDA や EPA、FTC、CPSC、ISO などをはじめとするすべての適用される法律、基準、業界のベストプラクティスに従って作成されています。

また、顧客が環境への影響を減らすための選択肢を増やすため、継続的に製品に新しい環境配慮型の特性を加えるべく努めています。

製造販売後調査プログラム

当社の製造販売後調査プログラムは、当社の製品が安全性と有効性を維持し、意図したとおりに機能することを確実にするものです。製品に関する懸念は関連規制機関に報告され、厳しい手順に従って対応されます。リコールが必要な場合は、適切なリスクプロファイルに従って分類が行われます。

クラス1のリコールは高リスクを意味し、クラス3のリコールは低リスクを意味します。リコールが発生した場合、当社は再発を防ぐ目的で強固な削減行動計画を実施します。



持続可能な製品・プログラム・パッケージング

持続可能な製品・プログラム・パッケージングに関する当社の取り組みは、当社の製品とパッケージングが環境に及ぼす影響を軽減します。

持続可能な製品

製品のサステナビリティは、倫理的な事業運営に欠かせません。当社の責任ある調達活動、再製造・リサイクル活動、製品およびパッケージングのイノベーションは、医療業界における GHG (温室効果ガス) 排出への当社の寄与を可能な限り抑制することを目的としています。

2023 年に、単回使用手袋由来の大量廃棄に対処するために、当社は手袋を最大限に利用することができる SmartBox™ という特許取得済みの箱入り手袋と、破れを最小限に抑える新しい手袋の二つの新製品を発売しました。

SmartBox™ には、製品を開口部に導く特許取得のインサートが組み込まれており、毎回手袋を一つずつ引き出すのがより容易になり、手袋の廃棄物が削減されます。

グリーン製品ポートフォリオ

当社のグリーン製品ポートフォリオは、事業部門が持続可能な製品を開発または紹介するために 2020 年に開発されました。当社は持続可能な製品の定義に関する厳しい指針を策定しました。発売されているサステナビリティの記載がある製品は、この指針に厳密に従っています。

これまで、このポートフォリオ向けに開発された製品は、以下の 3 つのカテゴリに分類されます。

- **環境サービス**: 刺激の強い化学物質を最小限に抑え自然環境に配慮し、医療現場を清潔に保ち、人々にとって衛生的な環境を維持することを目的とした製品
- **ヘルスケア必需品**: リサイクル材料や責任ある製造、パッケージングの削減など、自然環境に配慮した衛生医療製品
- **周術期ケア**: 費用対効果が高く、手術室関連の廃棄物を削減することを目的とした持続可能な手術室関連製品

持続可能なプログラム

当社の持続可能なプログラムは、顧客が廃棄物を削減し、コストを低減し、より健全な地球に貢献する手助けをします。プログラムの例としては以下が挙げられます。

- **Medline ReNewal 医療機器再製造 (米国)**: 単回使用医療機器を再製造し、別の用途に再利用することで、当社は病院の廃棄物削減を手助けしています。2023 年に、Medline ReNewal プログラムの施設を通じて 2,564,389 点の医療機器の再製造を行いました。また、Medline は、Medline ReNewal プログラムを通じて、Medline とパートナーによる取り組みを含め 1,518,654 ポンドの埋立廃棄物を削減しました。
- **単回使用器具 (米国)**: 当社の器具リサイクルプログラムは、鉗子やハサミなどの単回使用器具のリサイクル・再製造を行うことで、顧客にエコフレンドリーな処分の選択肢を提供し、医療廃棄物にかかるコストの削減につなげています。

- **大型バッグへの変更 (米国と欧州)**: 当社は使い捨ての箱ではなく再利用可能な大型バッグに入れて製品を提供することで、サプライチェーンにおける段ボール容器の量を削減しました。大型バッグは、再生プラスチックでできており、バッグ自体もリサイクル可能です。
- **手袋を廃棄物からエネルギーへ (米国)**: 当社は、顧客向けに回収サービスを提供し、手袋を廃棄物ではなくエネルギー生産に転換することで、使用済み検査用手袋をクリーンなエネルギーに変えます。

持続可能なパッケージング

持続可能なパッケージングは、環境フットプリントを削減する最も効果的な方法の一つです。当社はパッケージングを最小限に抑え、リサイクル性を最大限に高める革新的な方法を模索し続けます。

当社の世界市場でも、持続可能なパッケージング・ソリューションを検討しています。日本の手術準備キット部門は、2020 年に白い箱を標準の段ボール箱に切り替えて、包装材料の漂白の必要性を減らしました。また、2022 年以降、Medline ヨーロッパは手術準備キットを個別の箱で梱包するのではなく、複数の手術準備キットを一つのパレットボックスに入れることで、段ボールをおよそ 50%、プラスチックを 30% 節約しています。



ライフサイクルアセスメントが最適化ソリューションを促進

2023年にMedlineヨーロッパが製品レベルのLCA（ライフサイクルアセスメント）を数多く実施し、当社は主要製品ラインのカーボンフットプリントをはじめとする環境フットプリントを完璧に把握することができました。最初の実施はドレープとガウンに重点を置いたものでした。当社は、第三者によるLCAのチェックを行い、業界で認められている基準であるISO 14040に従うために、Intertek Health Sciences Inc.と提携しました。

こうして理解を深め、製品データが増えたことで、当社は顧客と密接に連携して環境関連の機会を特定することができます。これには以下の戦略が含まれます。

- 材料最適化：各製品に適切な材料グレードを使用することで、排出量を約30%削減できる可能性があり、パレット数と廃棄物の削減をはじめとするさらなる利点もあります。
- パッケージング最適化：パッケージングの再設計が製品のサイズダウンと軽量化につながりました。これにより、排出量が約35%削減され、パレット数と廃棄物の削減につながりました。

Medlineヨーロッパは、より多くの主要製品カテゴリへのLCAの展開を目指しています。

「原材料の採取や製造から使用済み製品の廃棄までを含むゆりかごから墓場までのライフサイクルの分析により、当社が環境フットプリントを削減することができる分野を特定することができます。」

-EMEA ESG ディレクター
Oliver Watts

世界での活動

欧州

欧州事業におけるサステナビリティに関する成果

2023年にMedline インターナショナルフランス SAS (MIF) は、欧州私立病院連盟の準会員であるCAHPP (公立・私立病院中央購入センター) のグリーンインデックスによって定められている基準に従い、A++の評価を獲得しました。2012年に作成されたグリーンインデックスは、生物医学や衛生・消毒、医療機器をはじめとする13の活動セクターを用いて、CAHPPのサプライヤーの責任ある購入方針を明らかにし、評価します。

日本

パッケージングに関する取り組みが箱と時間を節約

2023年に、メドライン・ジャパンは、特定の製品を輸送する際、大きな箱に入れて再梱包するのではなく、再利用可能なロールボックスパレットでの配送に切り替えました。梱包の時間とコストの削減に加え、この取り組みにより大型の梱包用の箱の使用量を一年あたり1,000個削減すると見込まれています。

日本チームは、廃棄物を削減するために配送用の箱の破損に関する基準も変更しました。現在、軽微な破損箇所のある箱は梱包をやり直すことなく、「貴重な資源の保護にご協力をお願いします。」というシールを貼ってそのまま配送されています。この軽微な破損に関する取り組みが2023年に開始されて以降、梱包のやり直しは半分に減り、日本チームは年間20,000個以上の箱を節約できると見込んでいます。この持続可能な取り組みは顧客に受け入れられています。

メキシコ

樹脂ロットの管理により効率を改善

メキシコのMedline ヌエボ・ラレドでは、事業部門、技術部門、品質部門からなる多様なチームが協力して樹脂の成形・押出工程における効率の改善と廃棄物の削減に取り組みました。このプロジェクトは、麻酔回路の製造において欠かせない要素である樹脂の使用量をより良く管理するための麻酔関連製品チームのより広範な取り組みの一環でした。





人々と コミュニティ

Medline は、従業員、事業、およびサービスを提供するコミュニティに良い影響を与えることを約束します。これを当社は、職場において最高水準の安全と健康を維持し、従業員が互いにつながり、能力開発を行う機会を創出し、会社全体で DEI (ダイバー、エクイティ、インクルージョン) を推進し、製品や資金、ボランティア活動の提供を通して当社が事業を行っている全世界のコミュニティで、健康の公平性に取り組んでいます。

2023年のハイライト

- 人道支援団体に150万ドル相当、185トンの医療用品を寄付
- 2,552人のMedline従業員が、9,102時間のボランティア活動に従事
- ドミニカ共和国に新しい手術センターを建設するために、複数年にわたり、25万ドルを寄付
- 米国コミュニティ・インパクト助成金として27万5,000ドルを支給
- トップレベルの雇用主としての評価を複数獲得

従業員の健康と安全

Medline は、すべての従業員と顧客、当社がサービスを提供する全世界のコミュニティにおいて、安全とウェルビーイングのために尽力しています。

当社には方針と手順によって支えられ、専門家の揃った強固な安全衛生プログラムがあります。

従業員の安全衛生に対する当社の積極的なアプローチは、当社の安全規範にて詳述されています。すべての法的、および規制上の側面を考慮できるよう、事業を展開している国または地域に合わせたものとなっています。

コンプライアンスと継続的な改善に対するコミットメントにおいて、当社の安全衛生に関する活動は以下を目的として行われています。

- Medline の敷地内外における健全かつ安全な労働環境を提供すること
- 法律と会社の方針を確実に遵守すること
- 安全にうまく仕事を行うための適切な知識とツールを提供すること
- すべてのインシデントは防ぐことができるという文化を醸成すること
- 継続的な評価を通じて当社の成功した取り組みにアクセスすること

Medline は、従業員の関与が安全衛生の重要な要素だと考えています。当社は、すべての従業員が環境上および健康上の視点から発生しうるハザードや問題を特定する責任を負う協力的な取り組みを頼りにしています。組織全体でのリーダー層のコミットメントと支援により、従業員は確実に安全衛生に関する当社の戦略と、なぜその戦略が組織にとっての優先事項なのかを理解することができます。

社内の安全衛生に関するコンプライアンスは、定期的に社内施設および安全プログラム監査を通じてモニタリングされ、必要に応じて事故調査、根本原因分析、ハザードの特定と排除が行われます。

当社は、シフト前検査の自動化のためのプログラムなど、組織全体で安全とウェルビーイングを促進するための新しいテクノロジーの検討を一層進めています。こうしたプログラムには、操作者がフォークリフトなどの車両を始動する前の全面検査が含まれます。現在評価が行われている別のイノベーションは、当社の MedTrans の従業員の運転による疲労を特定するためのカメラと人工知能 (AI) 技術の利用です。



従業員のウェルビーイングとメンタルヘルス

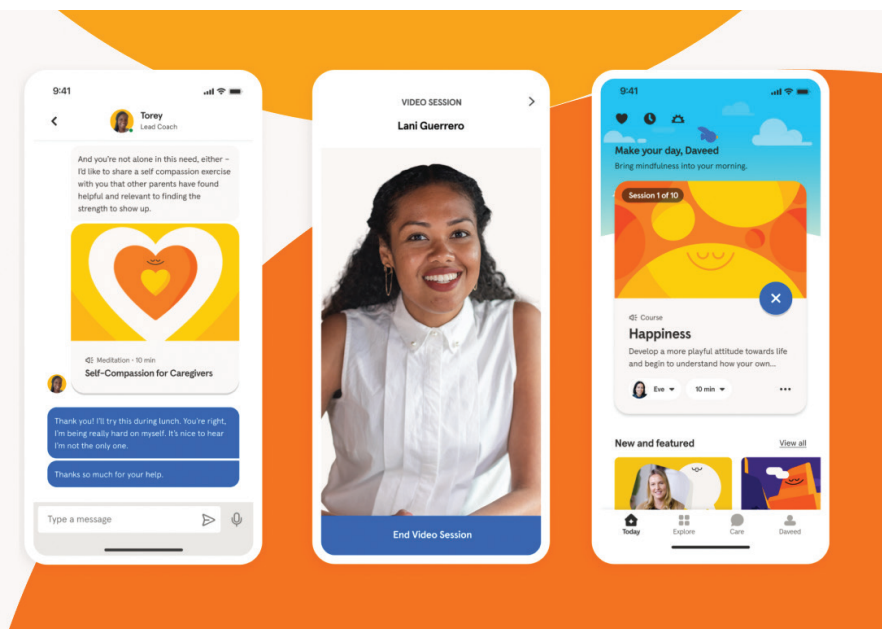
Medline の勤勉な従業員は、当社の最も重要な資本です。従業員の献身的な努力により、当社は顧客のニーズに応え、事業を展開するコミュニティの医療を向上させることができます。

Medline は、従業員のウェルビーイングを高め、やりがいのある労働環境を確保するために積極的なアプローチを行っています。当社はグローバルな組織ですが、すべてのコミュニティには固有の地域的ニーズがあることを理解しています。そのため、当社の包括的な従業員福利厚生は各地域に合わせたものとなっています。

Medline は、従業員支援プログラム (EAP) を立ち上げ、秘密厳守の無料カウンセリングサービスを提供しています。EAP は年中無休のサポートを提供し、欧州、メキシコ、カナダ、米国、インドで利用可能です。

米国と欧州では、従業員とその扶養家族は、感情的、金銭的、法的問題に関する短期的カウンセリングや情報を提供している無料の福利厚生である ComPsych GuidanceResources を 24 時間利用することができます。米国の従業員は、24 時間利用可能なコーチングとセルフケア、バーチャルセラピーを提供するアプリである Headspace Care (元 Ginger) も利用することができます。

Medline オーストラリアと一部のアジア新興市場事業セグメントは、総合的ウェルビーイング支援パートナーである Sonder を導入しました。個人または業務用の電話から全従業員が利用できる Sonder は、24 時間利用可能なアプリベースのサポートサービスです。Medline のリーダー層と HR 部門は、従業員の代わりにサポートを手配することもできます。



米国の従業員は、24 時間利用可能なコーチングとセルフケア、バーチャルセラピーを提供するアプリである Headspace Care (元 Ginger) も利用することができます。

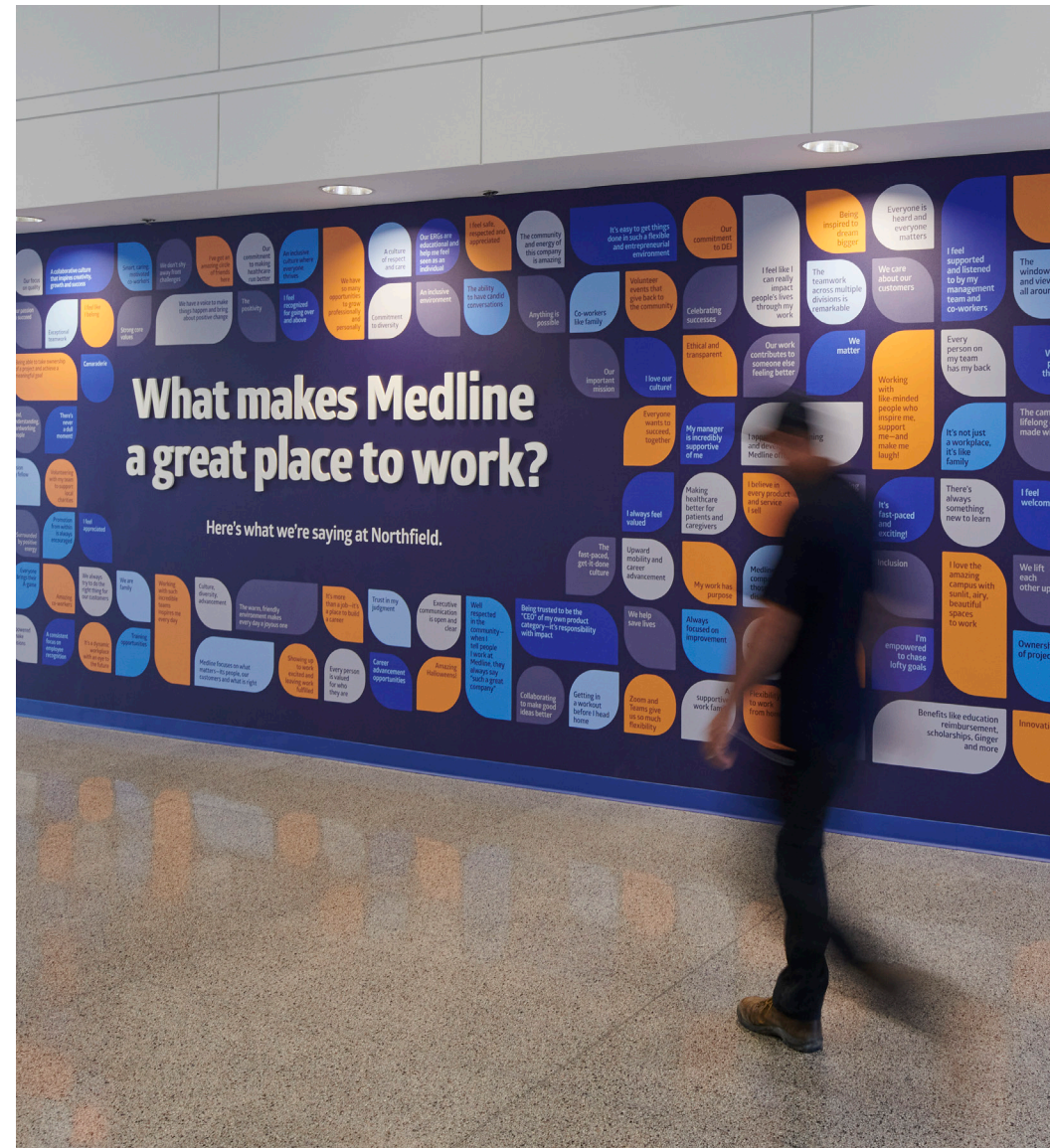
人材の確保と維持

Medline の職場は、ここ 10 年で大きく成長しました。当社は、世界の数か国において、常にトップレベルの雇用主であり、最も働きやすい職場の一つとして評価されてきました。

当社の成功の核となっているのは、自立性と問題解決力、行動志向を育む企業文化です。この文化が質の高い人材を引き寄せ、当社が今日の多様なグローバル企業になることを可能としました。当社の世界への展開力、キャリア開発の機会、社内での人材育成への選好、人材の可動性も、優れた従業員の確保・維持につながっています。

また、従業員一人ひとりが職場とコミュニティにおいて帰属意識を抱き、変化をもたらすことができると感じられる職場、つまり尊重と信頼の環境づくりに努めています。多くの Medline 従業員は地域や全世界でボランティア活動に参加し、積極的に貢献しています。ボランティアプログラムに参加する従業員は、より会社にコミットしていると感じていると理解しています。

Medline は、従業員の能力開発の重要性を理解しており、継続的な学習の機会を提供しています。例えば、当社は 2023 年に全世界において、従業員が LinkedIn ラーニングを利用できるようにしました。LinkedIn ラーニングは、ESG と DEI のトピックに焦点を当てたコースを含む、ハードスキルとソフトスキルを教える教育ビデオのオンデマンドライブラリです。同プラットフォームは、当社の従業員が潜在能力を最大限に発揮できるように個々に合わせたコースを提案してくれます。



従業員エンゲージメント

当社は、従業員が Medline で働くことをどのように感じているかを大切にしています。自分の仕事を意義あるものにする機会を与えられることで、従業員は定着する可能性が高いと考えています。定期的な従業員エンゲージメントは、従業員の士気を測るための重要な指標であり、会社の価値を高めます。

当社は、従業員に自身の貢献が理解・評価されていることを知ってもらいたいと考えており、職場での課題を事前に特定するために従業員からのフィードバックを求めています。当社は隔年で実施される従業員エンゲージメント調査、同調査が行われない年に実施される従業員パルスサーベイ、および定期的なライフサイクルサーベイにおいて従業員に懸念事項を伝える機会を提供します。

従業員調査

最近では、2022 年 6 月にグローバル従業員エンゲージメント調査が実施され、回答率 75.2% を達成しました。24,000 人を超える従業員が、15 のカテゴリに分かれた質問に回答しました。特筆すべきなのは、従業員の回答から、カスタマーサービスの共通文化と顧客の期待に応えることに対するコミットメントが浮き彫りになったことです。

2024 年のグローバル従業員エンゲージメント調査の準備が行われており、顧客重視が引き続き最も点数の高いカテゴリの一つとなることを見込まれます。

従業員パルスサーベイは、特定のトピックに関する従業員の感情を明らかにすることを目的としています。同サーベイは、国内のリーダーまたは人事ビジネスパートナーが、職場に関する問題を特定し、以前実施された介入の効果を測定するために行います。

従業員ライフサイクルサーベイは、従業員が当社で働くうえでの重要な時点でフィードバックを集めることを目的としています。オンボーディング（入社）時、入社 90 日目、Medline で働き始めて 1 年後に従業員の調査を行うことで、異なる時点での従業員の経験を知る手がかりとなります。

Speak Up プログラム

Medline は、どのような感情であれ、従業員に自身の意見を述べることを奨励しています。当社の Speak Up プラットフォームは、従業員がプロセスまたはシステムの改善提案から会社の方針および取り組みまで、あらゆるテーマについて意見を出し、疑問または懸念を提起し、アイデアを共有することを可能にします。

当初米国で導入された Speak Up プラットフォームは、現在全世界で実施されています。当社は、常に従業員との双方向のコミュニケーション手段を確保するためにデジタルオープンドアを通じてプラットフォームを進化させることで、展開力と影響力をさらに拡大することを目指しています。

また、Medline は、当社従業員とサプライヤーの従業員が、当社の倫理規定とエシカルソーシング活動に対する違反に関して懸念を提起することを可能にする苦情相談制度を設けました。こうした制度の一つに、匿名での報告を行うことができる 24 時間 Open Talk ヘルプラインがあります。詳しくは[ガバナンスセクション](#)をご覧ください。

Bravo 評価プログラム

Medline は、従業員が評価されていると感じ、最高の仕事をしようという意欲を感じる前向きな労働環境の醸成に取り組んでいます。2023 年 6 月に、一部の米国の部署と製品部門、メキシコの HR チームが、従業員エンゲージメントを促進し、評価の文化を構築するプラットフォームである Bravo を立ち上げました。同プラットフォームは、2024 年にインドのブネーとアジア新興市場（調達）チームにも拡大します。Bravo を通じて、従業員は 6 つの成功要因（顧客第一主義、成果にこだわる、切迫感を持つ、健全な判断を下す、高い勤労意欲を持つ、良好な関係を構築する力）のいずれかを示す個人またはチームを評価して、マイルストーンを祝い、感謝の意を表します。Bravo は、PC や携帯のアプリから利用することができるため、従業員はデスクや出先で気軽に使うことができます。

従業員エンゲージメント

従業員への感謝

当社は、従業員への感謝がウェルビーイングを促進すると考えています。また、従業員エンゲージメントも高め、帰属意識を植え付けます。

Medline は毎年、当社従業員の費やした時間と努力、成果を称えるためのイベントである従業員感謝週間を開催しています。2023 年には、世界中で数千人の従業員が同イベントに参加しました。Medline メキシコでは、従業員とその家族、友人をはじめとする 15,000 人を超える人々が 5 日間にわたりイベントに参加しました。インドでは、従業員とその家族が集まり、特別な夜を祝う Jashn という年に一度の代表的なイベントにまで拡大されています。

Medline のシカゴオフィスとリバティーヴィルオフィス、ノースフィールドオフィスで働いている米国従業員は、従業員感謝週間の一部を、シカゴを拠点とし銃による暴力をなくすために活動している非営利団体である Strides for Peace のための資金集めに取り組みました。600 人を超える Medline 従業員が 5km マラソンに参加し、同非営利団体のために 27,587 ドルの資金を集めました。追加で 10,000 ドルが Medline Foundation によって寄付されました。

雇用主としての評価

Medline の目標は、従業員が自分たちは評価されて、事業の成功には欠かせない役割を担っていることを認識した上で出社するようにすることです。これにより、従業員が自身の独自の視点が重要であることを自覚したエンゲージメントの高い環境が醸成されました。これが、トップレベルの職場としての一貫した評価につながっています。

2023 年における代表的な受賞例

Newsweek 「米国で最も優れた職場」

Newsweek 「多様性に最も優れた米国の職場」

Newsweek 「女性にとって最も働きやすい米国の職場」

Newsweek 「働く親と家族にとって最も優れた米国の職場」

Becker's Healthcare 「ヘルスケア業界の職場トップ 150」

Forbes 「米国で最高の雇用主」

Forbes 「米国の新卒者にとって最高の雇用主」

Forbes 「2023 年 米国の女性にとって最高の雇用主」

Forbes 「2023 年 州別で見る米国で最高の雇用主 (イリノイ州)」

Chicago Tribune 「2023 年 最高の職場」

働きがいのある会社 Medline メキシコ拠点認証 (Medline メキシコの全拠点)

働きがいのある会社® 研究所 2023-24 (インド)



DEI (ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン)

Medline は、全従業員が成功できる企業文化の醸成に取り組んでいます。当社は、従業員のユニークなバックグラウンドを生かして、世界全体を反映する職場を構築しています。

当社は様々な視点の価値を理解しており、あらゆるバックグラウンドの人々の考え方を歓迎します。当社は、Medline で働くすべての人々が潜在能力を最大限に発揮できるための手段と機会の提供を目指しています。

Medline の従業員は、ありのままの自分であることを奨励されています。当社は、従業員の多様性の豊かさを活用することで、顧客のためのソリューションを見つけ、ビジネスの成長と成功を達成するためのより良い準備が整えられることを知っています。

DEI を推進するための当社のアプローチは、以下の4つの戦略的な重要事項に焦点を当てています。

- インクルーシブな文化の構築
- 多様な人材を雇用し、従事させ、維持すること
- インクルーシブなリーダーシップ
- 事業強化

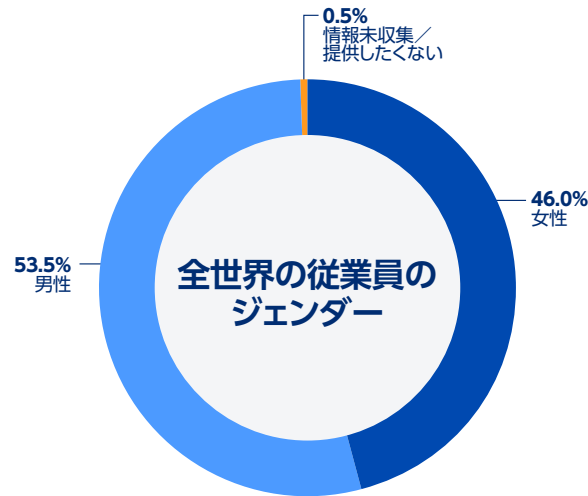
これらの戦略的重要事項は、採用と選考、報酬と福利厚生、専門的な研修と能力開発に及び DEI の方針と取り組みによって支えられています。

数字で見る多様性

全世界の従業員のジェンダー

これまで Medline は、新入社員のオンボーディング(入社時)の際に収集した情報を利用し、利用可能な場合は自己申告されたジェンダーアイデンティティでそのデータを補完することで、全世界のジェンダーデータを報告してきました。

現在、当社のレポートには上記の情報を組み合わせたものが反映されています。今後の Medline の目標は、全世界のジェンダーアイデンティティデータを収集する取り組みを強化することです。



米国の従業員のエスニシティ

エスニシティ	割合
白人	46.3%
ヒスパニック/ラテン系	23.3%
黒人/アフリカ系アメリカ人	19.3%
アジア系	7.2%
二つ以上の人種	3.3%
アメリカ先住民/アラスカ先住民	<1%
明記なし	<1%

DEI (ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン)

従業員リソースグループ (ERG)

当社のチームの多様性を反映し、Medline の ERG は、成長し、影響を与え続けています。2023 年に、ERG は米国とカナダ、日本で活動を行いました。各グループにはそれぞれ独自に重点的に取り組んでいる事柄がありますが、アイデンティティにかかわらず、誰でもメンバーになることができます。Medline のミッションと価値観に沿って、これらのグループはすべての拠点の従業員が自身と似たバックグラウンドまたは異なるバックグラウンドを持つ他の従業員とつながり、意見を聞き、学びを得るためのユニークな環境を提供します。ERG は、意識を高め、団結を促すことで当社の DEI 推進を手助けします。

米国の ERG

ア・ラティネックス・Medline・アライアンス (ALMA)
アジア・パシフィック・アメリカン ERG (APA)
ブラック・エンプロイー・ネットワーク (BEN)
ディサビリティ・アウェアネス&アクション・アライアンス (DAAA)
PRISM (元 LGBTQ+ ERG)
Medline ベテラン・エンゲージメント・チーム (MVET)
ウィメンズ・エンプロイー・リソース・グループ (WERG)

特に、最近ブラック・エンプロイー・ネットワークは、すべての肌タイプと髪質に適した新しい製品体系の開発を支援するために、当社の製品チームと手を結びました。

カナダの ERG

Medline カナダには 2 つの ERG があります。ERG のエグゼクティブスポンサーは、従業員の興味を引き付け、ERG の議論に基づき方針を変更するために人事部門の意見を聞いて協力し、研修を実施し、採用のための取り組みに積極的に従事します。教育と様々な課題に関する認識の促進を目的として、継続的にイベントが実施されています。2023 年に、Medline カナダのウィメンズ・アライアンス ERG は、全国で国際女性デーのイベントの開催に成功しました。

日本の ERG

日本では、チームメンバーを支援し、DEI に関連する特定の分野における改善を行うことを目標に、ERG を立ち上げました。ワークライフバランスと職場における心理的安全性について議論するためにサブグループが 2 つ作られました。ワークライフバランスグループのメンバーは個人的状況と仕事の要求のバランスを取ることに共通の課題について議論し、心理的安全性グループは帰属意識と評価、インクルージョンに関連する状況に重点を置いています。



U.S. ERGs
build
connections



Asian Pacific American
Employee Resource
Group



Black
Employee
Network



Disability Awareness
& Action Alliance



Hispanic and
LatinX Employee
Resource Group



PRISM
Employee Resource
Group



Medline Veteran
Engagement
Team



Women's
Employee Resource
Group

世界での活動

中国・ベトナム

新米ママのための授乳室

Medline チャイナと Medline ベトナムは、全オフィスの新米ママのための専用授乳室を用意しました。これらのスペースは、新たに親になった従業員をサポートし、思いやりのある職場環境づくりを当社が優先していることを示しています。従業員のために適切なリソースを提供することで、従業員満足度を高めることができ、結果として当社の多様な労働力の定着率を高めることができます。

メキシコ

DEI に対する理解を促進

Medline メキシコは、従業員間において DEI トピックに関する理解度を高めるために、一年を通じて様々なイベントを主催しています。イベントは、障害者就労に関するインクルージョンをテーマにしたウェビナーから、メキシコの「女性に対する暴力撤廃のための国際デー」に因んで開催された親しいパートナーからの暴力に関するセッションまで、多岐にわたりました。

米国

DEI 推進者のネットワークを構築

Medline U.S. の DEI チームは、製造施設と事業施設全体で DEI 推進者のネットワークを構築しました。人事部門が率いるこれらの推進者は、DEI チームとのパイプ役を務める施設従業員であり、自身の労働環境と勤務地の固有のニーズに合わせてインクルージョンのための取り組みと実践をカスタマイズします。

インクルーシブなリーダーシップを推進

Medline U.S. は、取締役レベル以上の従業員向けにインクルーシブ・リーダーシップ・シリーズを立ち上げました。このプログラムには、心理的安全性、違いの受け入れ、帰属意識の醸成、マイクロアグレッション（特定の属性を持つ人への無意識の偏見）への対処の 4 つのモジュールが含まれます。研修の目標は、リーダーに自身のチームのためにインクルーシブな環境を作り、エンployee・エクスペリエンスにプラスの影響を与えるためのスキルとツールを備えさせることです。

LGBTQ+ 向け福利厚生を拡大

2023 年に、米国の福利厚生チームは LGBTQ+ 従業員向けに医療保険の拡大について詳しく説明した LGBTQ+ 福利厚生ガイドを作成しました。

自己同定を推進

2022 年後半に自己同定キャンペーンを開始して以降、自発的にジェンダーアイデンティティと希望する代名詞、民族性に関するさらなる詳細を開示する従業員が増えてきました。これは、従業員がこうした情報を開示することにより以前より安心感を抱いていることを表しています。

継続的なメンターシッププログラム

米国のメンターシッププログラムは拡大され、さらにメンター/メンティーのペアが増え、多様な従業員グループに能力開発とサポートを提供しています。また、これによりリーダー層には当社の多様な将来有望な人材基盤に触れるより多くの機会が与えられます。



コミュニティエンゲージメント

当社のコミュニティエンゲージメント・支援のための取り組みは、当社従業員が生活し、働いているコミュニティを重視したものです。

多くの場合、米国および世界中の当社従業員は、Medline が最大規模の雇用主となっている地域で生活し、働いています。この事実に伴いコミュニティエンゲージメントとコミュニティ支援に関して当社が担う責任を自覚しています。

コミュニティエンゲージメントにおいて、当社は健康の社会的決定要因 (SDOH)、つまり人々が充実した健康な生活を送ることができるかどうかを左右する状況について取り組むプロジェクトに重点を置いています。例としては、個人の地理的な位置、教育水準、交通の便などが挙げられ、これらすべては人々が適切な医療を受診できるかどうかに影響を及ぼします。

これを念頭に置き、当社は 2023 年に以下の 3 つの分野を優先しました。

- 食料不安の軽減：適切な栄養を摂ることは、健康と回復に不可欠です。当社のパートナーは、人々が力強く生きるのに必要なリソースを手に入れられるよう支援しています。
- 医療アクセスの向上：当社は、低所得コミュニティに暮らす人々の健康状態の改善を支援する非営利団体と提携しています。
- 経済的安定の促進：当社は、貧困を減らし、個人や家族の健康とウェルビーイングを改善するリソースを提供します。

慈善寄付

当社の慈善寄付活動は、すべての Medline 従業員、代理店、請負業者、および Medline の代理として活動する他の人々に適用される当社の国際慈善寄付方針に基づいて行われています。同方針は、多様性とインクルージョンを尊重し、透明性が高くエシカルで、すべての関連する法律と規則に沿った方法で当社が慈善団体を支援することを確実にするものです。同方針は金銭的寄付と現物寄付の両方をカバーしています。

同方針に沿い、当社は慈善寄付関連活動に適切に取り組む方法について、段階的なガイダンスを記した標準業務手順書 (SOP) を導入しました。同 SOP は現在グローバルで展開されています。

ボランティア活動

当社では、従業員が自分の時間や才能を活用して積極的に社会的変化を起こすことができるよう、さまざまなボランティア活動の機会を提供しています。プログラムは地域ごとに異なり、当社が確実にかつ、適切な支援ができるよう当社の現地チームおよび現地パートナーが協力しています。

米国では、ボランティア・慈善寄付プラットフォームにより、従業員が活動に従事しやすく、当社は従業員の参加に関するデータ管理や報告することができます。2023 年に、世界中で 2,552 人の従業員が 103 の慈善団体を支援して 9,102 時間のボランティア活動を行いました。

献血運動が世界のニーズを満たす

世界各地の Medline の拠点で、献血の必要性に応えるために献血運動が実施されました。2023 年にインドのプネーにある当社のオフィスで 100 人以上の従業員が献血を行いました。2020 年 7 月以降、Medline オーストラリアの従業員は合計で 394 回献血を行い、1,182 人に相当する命を救いました。米国の Medline のボランティアは献血運動を 18 回実施し、4 つの非営利団体に貢献しました。



世界での活動

カナダ

医療用品を脆弱なコミュニティに届ける

Medline カナダは、Health Partners International of Canada (HPIC) とのパートナーシップを継続しました。HPIC は、カナダの医療従事者、政府機関、非政府機関、企業、財団、カナダ国民と協力して脆弱なコミュニティに暮らす子どもたちと家族の健康を改善しています。

オーストラリア

オーストラリア癌評議会を支援

Medline オーストラリアは、がん患者と家族を支援し、政府へのアドボカシープログラムおよび予防プログラムを実施する地元団体であるオーストラリア癌評議会と積極的に連携し、支援を行っています。

欧州

モーベンバー（男性がん啓発運動）を実施

2023年11月に、Medline ヨーロッパは、前立腺がんや精巣がんをはじめとする男性に影響を及ぼす病気に対する認識を高めるために、モーベンバーに再び参加し、多くの従業員が口ひげを生やしました。口ひげを生やせない従業員は、「モーショー」フォトキャンペーンに参加しました。これらの取り組みを通じて、世界中で男性の健康のための取り組みを支援する主要な慈善団体であるモーメンバー財団への寄付が行われました。

インド

学校修復プロジェクト

ロータリークラブを通じて、Medline インドは 2023 年にインド農村部で 15 の学校を修復しました。低所得世帯出身の 6,000 人を超える学生が恩恵を受け、現在ではより多くサポートを受けられ、より安全な環境で学んでいます。

学生のための補聴器

周縁化されたエリアから教育と就業の機会を求めてやってくる子ども向けの教育機関兼居住施設である Jai Shikshan Sanstha と連携して、Medline インドは聴覚障害のある学生のために補聴器を調達・寄付しました。

日本

二つのドナルド・マクドナルド・ハウスでの支援

メドライン・ジャパンのボランティアは、2023年に東京と名古屋のドナルド・マクドナルド・ハウスで二つの活動を実施しました。ドナルド・マクドナルド・ハウスは、遠く離れた病院に通院または入院している子どもを抱える家族に第二の我が家を提供しています。都内にあるドナルド・マクドナルド・ハウス東大で清掃を、名古屋にあるドナルド・マクドナルド・ハウスなごやではミールプログラムと清掃を、従業員ボランティアとして行いました。

メキシコ

基本的ニーズを支援

2023年に、当社のヌエボ・ラレドとメヒカリの拠点は、社会インフラを改善し、より強固でよりレジリエントなコミュニティを構築する支援を目的とした非営利グループ Fondo Unido とのパートナーシップを継続しました。

米国

ボランティア活動月間

Medline U.S. におけるサービス月間は、従業員に直面またはバーチャルの様々なボランティア活動へ参加奨励し、動機付けを与えました。2023年に、従業員は友人や家族とともに、Feed My Starving Children に協力して食品を詰め、Meals on Wheels のサービスを受けている高齢者と障害者にカードを書き、非営利団体 Cradles to Crayons を通じて衣類や衛生用品、その他の必需品を大量にパンいっぱい詰め込んで寄付しました。

乳がん支援

乳がん啓発月間を称え、Medline Foundation は二つの非営利団体に乳がんを診断された人々のための医療アクセスを拡大する助成金を支給しました。

SHARE Cancer Support は、Medline の検査用ニトリル手袋ピンクセンスとジェネレーションピンクパールによる収益を通じて調達された 25,000 ドルのピンク・グローブ・グラントを受け取りました。ピンク・グローブ・グラントは、スペイン語話者の乳がん患者をサポートする SHARE の LatinaSHARE プログラムへの資金援助となります。

同じく 25,000 ドルの二番目の地域社会インパクト・グラントは、テキサス州オースティンの Breast Cancer Resource Center (BCRC) に提供されました。BCRC は、乳がん患者とその家族に個々に合わせたサポートと支援活動を提供しています。同グラントは、地域診療所とその他の医療組織が教育用ウェビナーとビデオを利用できるようにすることで BCRC の活動範囲を拡大する一助となるでしょう。

医療アクセスと適正な医療費

Medline は、特に資源が少ない地域に重点を置き、医療アクセスを拡大し、健康の公平性を高めるために非営利団体と協力しています。

地域の非営利団体の知識と専門技能を活用することで、Medline は短期、中期、長期的に人々の健康を改善するのに必要な製品、ソリューション、リソースを提供することができます。

米国におけるパートナーには、Direct Relief、Global Smile Foundation、MAP International、Matter、Medical Bridges、Medical Teams International、MedShare、MedWish、One World Surgery、Partners in Health、Project C.U.R.E.、See Internationalが含まれます。オーストラリア、カナダ、欧州では、当社はそれぞれ Rotary Australia の MediShare、Direct Relief、Health Partners International Canada と協力しています。

製品寄付

Medline は、国際的な人道支援団体である Direct Relief と連携し、世界中の低資源国に余剰または未使用の製品を届けています。Medline U.S. と Direct Relief の関係は数年間に及びますが、2023年に当社は Medline ヨーロッパと Medline メキシコからの余剰製品の寄付を支援するために Direct Relief との関係性を拡大しました。この国際的な関係を通じて、Direct Relief は、病気、貧困、災害により脅かされている特別な支援が必要なエリアに暮らす人々に当社製品が届くことを保証することができます。

スキルベースのボランティア活動

Medline のグローバル・ヘルス・イニシアチブは、低資源環境で活動している非営利保健システムと、サプライチェーンの最適化、手術期の効率化、健康教育に経験豊富な米国の従業員と連携し、健康の公平性を促進しています。こうした非営利パートナーの一つが、ドミニカ共和国とホンジュラスの十分な医療サービスを受けていないコミュニティへの外科治療とプライマリケアの提供に尽力している国際的非営利団体である One World Surgery です。2023年も毎年実施されている Medline のボランティア活動月間にあたる11月に、12人の Medline のボランティアが One World Surgery のサプライチェーン機能を改善するためにホンジュラスで1週間を過ごしました。





Medline は、One World Surgery と連携して十分な医療サービスを受けていないコミュニティに外科治療を提供しています。

2023年に、12人のMedlineのボランティアがOne World Surgeryセンターのサプライチェーン機能を改善するためにホンジュラスで1週間を過ごしました。One World Surgeryは、パートナーであるNuestros Pequeños Hermanosの児童養護施設の敷地内にあるHoly Family Surgery Centerに資金を提供し、運営を行っています。この2,000エーカーの牧場は、ホンジュラスの首都テグシガルパから北東に約1時間の場所にあります。

One World Surgeryは、手術センターでボランティアがホンジュラスのスタッフと協力し、医療使節団訪問の調整を行っています。2023年に2,029件の手術を行うことができました。Medlineチームのボランティアは、滞在中に同団体の倉庫を最適化し、パレットフロー保管システムと地上保管システムを導入することでさらにスペースを使えるようにしました。また、プロセスのサステナビリティを確保するために標準作業手順書の改定も行いました。

One World SurgeryのサプライチェーンマネージャーであるMichael Fryは、「今回の訪問において私たちにとって重要だったのは、Medlineのスタッフが倉庫を確認し、非効率な部分を明らかにし、改善を手助けすべく惜しみない協力をしてくれたことです」と述べました。

2023年に、Medlineは、ドミニカ人とハイチ移民の間でニーズが差し迫っているドミニカ共和国における新しいOne World Surgeryセンターの建設を支援するために複数年にわたる25万ドルの寄付も完了しました。プライマリケアサービスは現在バティと呼ばれる製糖所を中心に作られた地域コミュニティにおいて提供されています。Harvard International Reviewによると、実際これらの貧民街のような集落には、水、電気、教育、法律相談（特に労働者の権利に関連するもの）など弁護士を利用することがほとんどできない人々が20万人から100万人住んでいます。手術センターにより、安全でタイムリーな外科治療へのアクセスが向上するでしょう。

MedlineのOne World Surgeryとの緊密なパートナーシップは、Medlineがいかにして従業員のスキルと専門知識を活用して臨床医とコミュニティに力を与え、人々が受ける権利のある医療を利用する手助けをするソリューションを生み出すかを示す一例です。「当団体がMedlineと築いているようなパートナーシップは、当団体の活動にとって不可欠なものです」とFry氏は述べています。

サプライヤーダイバーシティ

Medline は、当社がサービスを提供するコミュニティを反映する多様かつインクルーシブなサプライチェーンの構築に尽力しています。多様なサプライヤーからなる活気に満ちたネットワークを活用することがイノベーションの促進、ステークホルダーのための永続的な価値の創造、地域経済の強化に不可欠であると当社は確信しています。

米国では、多様なサプライヤーとは、所有権、支配権、運営権の 51% 以上を過小評価グループや、十分なサービスを受けていないグループが占めている企業を指します。これらのグループには、少数民族、女性、退役軍人、LGBTQ+ コミュニティのメンバー、障害者が含まれます。

Medline は、サプライヤーダイバーシティプログラムの拡大・さらなる改善を行っており、2023 年に今後当社のサプライヤーダイバーシティ戦略に役立つ分析をするためにコンサルティング会社と契約しました。当社は、事業において多様なサプライヤーをさらに促進するためのサプライヤーダイバーシティ戦略を構築しています。これは、私たちが顧客と共有する優先事項です。

AbilityOne を通じた障害者雇用の促進

米国の AbilityOne Commission は、連邦政府機関への製品とサービスの提供を促進するために、視覚障害または別の障害を持つ人々の雇用を創出・維持することを使命とする独立連邦政府機関です。AbilityOne によると、同機関は、負傷軍人を含む約 2,500 人の退役軍人をはじめとする 37,000 人近い障害者に雇用の機会を提供しています。AbilityOne は、研修を実施し、長期にわたる雇用の機会を創出するために全国 420 を超える非営利機関と提携しています。

Medline は、以下の方法で AbilityOne プログラムと同機関の非営利パートナー団体の支援を行っています。

- AbilityOne の非営利機関が連邦政府機関に供給する製品を作る手助けをするために、原材料と部品、業界知識を提供
- 連邦政府との請負契約を通じて AbilityOne 製品を販売
- 非営利機関が製品をキットにして販売し、国防総省の軍事施設にあるベースサプライセンター (BSC) として知られる小売店に在庫を補充する手助けをするために医療用品を販売

Medline オーストラリアは教育セッションを促進するために社会的取引を支援しています。

オーストラリアでは、社会的企業が意図的に社会問題に取り組み、コミュニティ改善や、雇用と訓練へのアクセスの提供、または環境保護のための手段として取引を活用しています。これらの組織は、収益の大部分を寄付金または補助金ではなく取引から得ており、利益の大部分、少なくとも 50% を社会的使命のために使っています。

2023 年に、Medline オーストラリアは、Communitier が支援する社会的調達教育セッションを行う際にこの革新的なシステムを活用しました。Communitier は、オーストラリア全体で商業的に採算の取れる社会的企業の設立を支援・奨励するために設立された小規模非営利団体である Social Traders に登録されています。Communitier は、人々と地球の平和と繁栄のために共通の理解と統一的な配慮を形成するために文化とセクター、産業を団結させるボランティア活動の力を強く信じています。

Medline オーストラリアは、推奨される社会的サプライヤーの連絡先リストを作成しており、適切な場合には Social Traders と先住民企業データベースである Supply Nation に登録されている政府公認企業を通じて現地調達を行うよう従業員に奨励しています。



強固な ガバナンス

Medline の成功は、当社が常に誠実に行動できるかどうかにかかっています。この基本理念は根本的なものであり、当社の事業運営のあらゆる側面に影響を及ぼしています。Medline は、医療機器業界における透明性を支持しており、当社の事業と顧客とのやりとりのあらゆる部分で倫理的行動を促進するのに必要な方針と手順を実施してきました。

2023年のハイライト

- Medlineのエシカルソーシング監査チームによる645回の社会的責任監査実施
- 対象となる一次サプライヤーにWRAP認証を受けるよう促すプロジェクトを複数年にわたり継続
- Medline従業員とバリューチェーンの従業員が職場における倫理とコンプライアンスに関する懸念を提起できる、グローバルなOpen Talkコミュニケーションチャンネルを継続

倫理とコンプライアンス

医療コンプライアンスは、規制当局による調査の強化や技術的進歩、手頃な価格への注目の高まりにより促進されます。

こうした高度な規制により、ヘルスケアプロバイダーとそのサプライヤーが、リスク緩和のための強固なシステムを採用する積極的なアプローチが必要となりました。

医療システムにおける規制は、治療法が安全なものであること、医療従事者が治療法または機器の使用について訓練を受けていること、施設が特定の基準に準拠した治療の提供をしていることを確保するものです。さらに、ESG 関連の国際法規の体系が増え続けています。これらの規制は、排出量削減、基本的権利の尊重、公平性と平等性の促進などの課題に関する合意された目標と価値観を法規化しています。

これらは医療とその未来を形作る課題であり、良き企業市民とはどういったものかについてより広い視野を持つことで、レジリエンスがあり先見性を備えた企業であることを確実にすることが、私たちの責任となります。

倫理・コンプライアンスプログラム

Medline は、必要なことだけでなく、正しいことを行うよう努めています。当社の企業行動について規定した高い倫理基準と事業基準は、当社の倫理・コンプライアンスプログラムと行動規範に組み込まれている価値観と原則に根差しています。

当社の倫理・コンプライアンスプログラムは、当社のすべての事業活動が法律、規則、政策、業界規範を確実に遵守することを目的としています。これには当社の行動規範の監督、実施、執行が含まれ、当社の贈賄・汚職防止プログラムの管理、調査、トレーニングを伴います。

当社の行動規範

行動規範は、当社の倫理・コンプライアンスプログラムの基礎となっています。同規範は、当社の基本的な価値観を定義し、政府やヘルスケアプロバイダー、顧客、競合、従業員をはじめとするステークホルダーとの関係に関する原則について概説しています。

Medline は、確実に業界と当社のビジネスにおける変化が反映されるように、定期的に行動規範の見直しを行っています。行動規範におけるトピックには、以下が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

- 法律によって認められているとおりに Medline の Open Talk ヘルプラインを通じた不正行為の通報（匿名の通報を含む）
- 報復行為の禁止
- 利益相反
- 贈答品と接待

- 贈賄防止と汚職防止
- HCP との関係
- 製品品質
- 適正な競争
- 誠実なコミュニケーションとマーケティング
- 差別禁止／ハラスメント防止
- 職場の安全性
- プライバシーとデータ保護
- 資産と機密情報の保護
- 正確な財務記録並びに財務報告の維持
- 政治参加と慈善寄付

Open Talk

当社は常に、秘密が守られる Open Talk チャンネルを通じて当社の倫理とコンプライアンスに関する質問をし、懸念を提起するよう従業員、ビジネスパートナー、サプライヤーに促してきました。この無料のオンラインポータルサービスは一年を通して 24 時間利用することができます。

全世界からアクセス可能な Open Talk は、当社の行動規範、サプライヤー行動規範、または当社事業における人権侵害に対する違反または違反の可能性を含む懸念を把握するために設立されました。匿名での報告が禁止または制限されている国では、不正行為の可能性について当社に通報したい人々が他のコンプライアンスリソースを利用できるようにしています。

倫理とコンプライアンス

当社が従っている基準

Medline は、すべてのステークホルダーとのやりとりにおいて法律に従い、誠実であり、信頼されるよう努めています。当社は事業を展開する国において法規制に従うことで公正なビジネスを行っており、MedTech と先進医療技術工業会 (AdvaMed) が定めた基準をはじめとする業界トップの基準を遵守しています。

MedTech と AdvaMed の加盟企業として、当社は両団体の倫理規定と医療従事者との適切なやり取りに関する指導を遵守することで、最も高度な倫理基準と患者の安全な先進医療技術へのアクセスの提唱という両団体の使命を支援しています。



エシカルソーシング

Medline は、当社の製造パートナーとの関係を重視しています。ビジネスを倫理的に行い、労働、人権、環境に配慮した実践を推進する当社のコミットメントを共有するサプライヤーと提携することが不可欠です。

当社の多角的なエシカルソーシングプログラムは、国際的に認められている基準とベストプラクティスを用いて、確実に当社の製造パートナーに当社が自社に求めるのと同じ高度な基準を遵守させています。

エシカルソーシングプログラムでは、当社がサプライチェーンにおける最も切迫したリスクを特定し、それに基づいて行動することを可能にするリスクベースのアプローチが重視されています。同プログラムは、以下の3つの主要要素で構成されています。

- Medline サプライヤー行動規範により、当社がサプライヤーに期待することを概説し、彼らのネットワーク内での透明性とアカウンタビリティを高めるようサプライヤーに促します。
- サプライヤーが当社との取引関係の全期間にわたって当社の期待に応えることを確実にするために、専属の Medline スタッフがリスクアセスメントと社会的責任監査、是正措置を指揮します。
- 独立第三者機関がデューデリジェンスを実施し、エシカルソーシングチームがエシカルソーシングリスクを積極的に特定し、発生リスクの緩和を可能にします。

新たな規制とそれに関連する顧客の期待により、Medline のような企業には労働と人権に関する方針と手順のグローバル化・一元化への圧力がかかっています。当社の 2024 年の重点分野は、既存のサプライヤーデューデリジェンスプロセスを利用することでグローバルコンプライアンスを確実なものとし、当社のサプライチェーン全体の透明性を高め、エシカルソーシングデータが確実にほぼリアルタイムデータとなり、常に監査可能となるようにすることです。



プログラムの柱

当社のエシカルソーシングプログラムは、サプライチェーンマネジメントへの持続可能な責任あるアプローチを反映しています。同プログラムは、以下の方法により当社の価値観とコミットメントを強化する 11 の柱に基づいて作成されています。

- サプライヤーに対する期待の明確化
- サプライヤーとの関係全体の継続的なモニタリング
- 積極的なリスク緩和
- 関連する健康、安全、労働、人権に関する課題についての定期的な研修とエンゲージメントの実施

当社のプログラムに影響を及ぼす基準

Medline は、現代奴隷制や強制労働、人身売買をはじめとする基本的人権の侵害を禁止・防止するためのシステムと管理体制の実施に尽力しています。ビジネスと人権に関する UNGPs (国連指導原則) から大きな影響を受けている当社のエシカルソーシングプログラムには、以下の基準、協定、原則も組み込まれています。

- 国際労働機関 (ILO)
- 国連世界人権宣言
- 世界規模の責任ある認定生産 (WRAP)
- ソーシャル・アカウンタビリティ・インターナル基準 SA8000
- 経済協力開発機構 (OECD) 多国籍企業行動指針

エシカルソーシング

当社の現代奴隷制度と透明性に関するステートメントは、人権問題を監視し、当社の全世界での事業運営とサプライチェーン全体におけるリスク緩和のための当社のアプローチを詳しく示しています。同ステートメントは、2010年カリフォルニア州サプライチェーン透明法、英国の2015年現代奴隷法、オーストラリアの2018年連邦現代奴隷法、カナダの2022年サプライチェーン強制労働、および児童労働防止法に従って出されています。

サプライチェーン内でのトレーサビリティ

当社の全世界における製造・サプライチェーン業務は、Medlineが所有する組立施設および製造施設、さらには第三者製造委託先と直接サプライヤー（一次サプライヤー）で構成されています。

サプライチェーンマネジメントでは、これらの一次サプライヤーの評価と監査に主な重点が置かれています。一次サプライヤーは、原材料、構成部品、またはMedlineラベルの完成品を当社に提供する企業です。これらのサプライヤーによる当社のサプライヤー行動規範の遵守を継続的に監視することで、当社はリスクのある領域を特定・緩和することができます。

当社のサプライチェーン内で透明性とトレーサビリティを高めるには、これらの一次サプライヤー自身がデューデリジェンス評価を実施することで、自社のサプライヤー、下請業者、労働斡旋業者が当社のエシカルソーシング基準との整合性が取れている基準を適用しているかどうかを評価することが必要になります。

同様に、ここ数年で、Medlineは下流サプライヤーの評価を行うための取り組みを拡大しました。下流サプライヤーが当社のサプライヤー基盤全体に占める割合は少ないものの、これらのサプライヤーが当社のサプライヤー行動規範を遵守しているか評価することで、原材料から最終製品までのサプライチェーンリスクを管理・是正することができます。

この取り組みの拡大に賛同し、Medlineチャイナはエシカルソーシングデューデリジェンスプロセスを拡大するためにリスクベースのアプローチを採用しています。Medlineブランドのソリューションの追跡可能なサプライチェーンを構築するために、Medlineチャイナは上流サプライヤーから直接情報を収集しています。Medlineチャイナのチームは、Medlineのサプライヤー行動規範に違反するリスクが高い可能性があることが分かっている材料と地域に重点的に取り組んでいます。

クリティカルマテリアル関連のリスクの把握

Medlineは、クリティカルマテリアルに関するリスク指標の調査と必要に応じた緩和に尽力しています。Medlineブランドのソリューションの開発・オンボーディング時に、Medlineの品質保証チームは、製品にクリティカルマテリアルまたは紛争鉱物が含まれていないことを確実にします。同チームはこれを様々な方法で行います。

- サプライヤーが製品を生産するのに用いた原材料と工業プロセスについてサプライヤーに質問
- サプライヤーオンボーディングおよび製品開発時に製品組成の詳細情報を入手
- リスク指標について警告するためにサプライヤーにサードパーティ・デューデリジェンスを実施

また、当社は、7大陸中6大陸のサプライヤーとの戦略的パートナーシップを利用して、労働者を危険に晒しうる状況を監視・緩和します。以下の場合には、より厳しい調査水準がサプライヤーに適用されます。

- 綿花生産、ゴム配合、不法伐採、採鉱などの低賃金労働者、移民労働者、脆弱な労働者から搾取している可能性がある業界
- 有害な可能性がある化学物質の使用、重量のある産業機器の操作など、身体的負荷または身体的安全へのリスクがある仕事
- 第三者機関から当社のパートナーに派遣される可能性のある一時雇用の従業員社員または契約社員
- 現地の法律では合法ではあるものの、当社が遵守している高い基準を満たさない可能性がある労働慣行

2023年に、Medlineのエシカルソーシング監査チームは、645回の社会的責任監査を実施しました。これらの監査は、人権、労働条件、環境保護、労働の種類、賃金と福利厚生、労働時間を対象に実施されました。また、当社は、第三者パートナーと協力し、当社のエシカルソーシングプログラムの範囲を拡大し、より多くの国で追加の社会的責任監査を実施しました。



MedlineとWRAPは サプライチェーン認証で連携しています。

2022年に、Medlineの手袋部門は、医療機器セクター初のWRAP認証プロジェクトを開始しました。2023年時点で、当社の手袋サプライヤーのうち22社がWRAP認証を取得しています。その勢いを生かして、Medlineはより多くの対象となる一次サプライヤーにWRAP認証を取得するよう促すための複数年にわたるプロジェクトを開始しました。

認証のために、Medlineブランドのウェアラブル機器、防護服、医療用テキスタイルのサプライヤーを選定しています。対象となる製品には、検査用・手術用手袋、滅菌ラップ、ドレープ、サージカルガウン、アイソレーションガウン、シューズカバー、メディカルキャップが含まれます。

Medlineのエシカルソーシング基準は、コンプライアンスを評価する社会的責任監査を実施するためにWRAPが用いている12の原則に整合しています。これらの原則は、UNGP、経済協力開発機構の多国籍企業行動指針、国連の国際労働機関によって示されている理念から派生したものです。MedlineとWRAPは、WRAPが医療機器セクターにおいて作成・テストされたプロトコルを拡大する中で、連携を継続します。

「MedlineとWRAPは、WRAPが医療機器セクターにおいて作成・テストされたプロトコルを拡大する中で、連携を継続します。」

-EMEA ESG 担当取締役
Oliver Watts

情報セキュリティ

サイバーセキュリティ

Medline の情報セキュリティとサイバーセキュリティに対するアプローチは、当社の資産と顧客のプライバシーをあらゆる不正アクセス、使用、開示から守る必要性から実施されています。医療業界で最もよくみられるサイバーリスクの種類は、フィッシング、ランサムウェア攻撃、データ漏洩、分散型サービス妨害(DDoS)攻撃です。脅威アクターは、自身のキャンペーンの有効性と速度を高めるために、一層生成 AI を利用するようになっています。

当社の米国本社から構築・管理されている当社のグローバルサイバーセキュリティプログラムは、13 年前に作られ、国立標準技術研究所 (NIST) の自主的サイバーセキュリティフレームワークに基づいたものです。当社のセキュリティ手法は、サイバー攻撃の特定・保護・検出・対応方法に関する指針となり、事業全体で利用される組織的な最低限のセキュリティ基準の基礎となります。

当社の IT インフラとアーキテクチャは、軍の「多層防御」のコンセプトを用いて、多数の層からなる防御と多重の防御障壁を提供して、起こりうるあらゆる攻撃の進行を遅らせます。このアプローチは、インシデントの影響に対応し、影響を低減、緩和する機会を提供します。障壁には、強固なアイデンティティ・アクセス管理、脆弱性管理、エンドポイント保護、ネットワークセグメンテーション、イベントモニタリング、従業員研修が含まれます。当社のゼロトラストアーキテクチャへの侵入が頻繁に試みられていますが、このプログラムの運用開始以降、一度も重大な侵害またはインシデントはありませんでした。

当社の優先事項はあらゆる攻撃を防ぐことですが、もし攻撃された場合、当社は迅速に対応し、必要ならばシステムを素早く復旧することで顧客へのサービスの提供を継続し、確実に医療機関がサイバー攻撃による影響を受けないようにする備えができています。

当社のプログラムは、その有効性とコンプライアンスを実証するために、第三者による監査、評価、侵入テストを通じて絶えずモニタリングが行われています。

データプライバシー

当社は、従業員、顧客、および当社がやりとりをするすべての個人によって当社に託された個人データを適切に取り扱うことで、個人のプライバシー権を尊重しています。

データプライバシーに対する当社のアプローチは、組織が製品を革新・提供する中で潜在的なプライバシーリスクを特定・管理する一助となり、個人のプライバシー権も守る自主的なツールである NIST のプライバシーフレームワークに基づいています。

NIST のプライバシーフレームワークは、既存の国内外の法制度および規制制度に対応し、あらゆるタイプの組織が柔軟に利用することができるように設計されています。

2024 年現在も続いています。2023 年に、Medline のグローバルプライバシーチームは、NIST のプライバシー労働力分類の内容を作成するために NIST のプライバシー労働力公開ワーキンググループ (PWWG) に参加しました。2024 年に完成すれば、同分類により、組織が望むプライバシーの成果をよりうまく達成し、より一貫した職位記述書で求人を支援し、よりスキルと知識のある労働力を生み出すための教育と訓練につなげる一助となるタスク、知識、スキルに関する共通言語が提供されるでしょう。



SASB 指標

医療機器・医療用品の基準

トピック	会計指標	SASB コード	開示
適正な医療費と価格設定	米国消費者価格指数の年間上昇率に対する、全製品の正味価格の上昇率の加重平均の比率	HC-MS-240a.1	当該指標の 2023 年度実績は非開示としました。
	各製品の価格情報を顧客または代理店に開示する方法の説明	HC-MS-240a.2	当該指標の 2023 年度実績は非開示としました。
製品の安全性	リコール件数、総リコール数	HC-MS-250a.1	FDA による医療機器のリコールについては、 ここ をクリックしてください。FDA による薬物のリコールについては、 ここ をクリックしてください。Medline に属するグローバル企業は、リコールに関してすべての現地の法規制を遵守します。
	FDA の MedWatch 安全性アラート (医薬品) データベースに掲載されている製品のリスト	HC-MS-250a.2	FDA の MedWatch 安全性アラート (医薬品) にリストされている製品については、 ここ をクリックしてください。
	FDA に医療機器不具合として報告された製品に関連する死者数	HC-MS-250a.3	Medline は医療機器不具合について、米国 FDA が要求するすべてのデータを報告しています。Medline の情報については、 MAUDE データベース をご覧ください。
	最新の適正製造基準 (cGMP) の違反に対して取られた強制措置の件数 (タイプ別)	HC-MS-250a.4	FDA による強制措置の件数については、 ここ をクリックしてください。
倫理観に則ったマーケティング	虚偽のマーケティング クレームに関する法的手続による金銭的損失の総額	HC-MS-270a.1	当該指標の 2023 年度実績は非開示としました。
	製品の適応外使用のプロモーションを管理する倫理規定の説明	HC-MS-270a.2	Medline は米国にメディカルアフェアーズチームを有しており、製品の適応外プロモーションの禁止に関する研修を毎年実施しています。

SASB 指標

医療機器・医療用品の基準

トピック	会計指標	SASB コード	開示
プロダクトデザイン とライフサイクル マネジメント	製品に含まれる化学物質に関連する環境・人の健康面への考慮を評価・管理し、サステナブルな製品に対する需要に応えるプロセスの説明	HC-MS-410a.1	Medline は、ブランドソリューションに関連するすべての規制を遵守します。グリーン製品ポートフォリオと持続可能なパッケージングの詳細については 28 ページ をご覧ください。
	回収されて再利用、リサイクル、または寄付された製品の総量、内訳：(1) 医療医療機器、(2) 医療用品	HC-MS-410a.2	Medline は、米国内において再使用のための単回使用医療機器の回収と再製造、および医療用品の寄付を毎年行っています。2023 年に、Medline ReNewal は Medline ReNewal プログラムの施設を通じて 2,564,389 点の医療機器の再製造を行いました。また、同じく 2023 年に、Medline とパートナーによる取り組みを通して、Medline ReNewal プログラムにより 1,518,654 ポンドの埋立廃棄物を削減しました。当社は、人道支援団体に 150 万ドル分の医療用品 185 トンの寄付も行いました。
サプライチェーン マネジメント	製造および製品品質に関する第三者監査プログラムに参加している (1) 事業体の施設および (2) Tier I サプライヤーの施設の割合	HC-MS-430a.1	当該指標の 2023 年度実績は非開示としました。
	流通チェーン内のトレーサビリティを維持するための取り組みの説明	HC-MS-430a.2	Medline が流通チェーン内でどのようにトレーサビリティを維持しているかの詳細については、 49 ページ をご覧ください。
	クリティカルマテリアルの使用に伴うリスク管理に関する説明	HC-MS-430a.3	クリティカルマテリアルの使用に伴うリスク管理の詳細については、 49 ページ をご覧ください。
企業倫理	賄賂または汚職に関する法的手続による金銭的損失の総額	HC-MS-510a.1	当該指標の 2023 年度実績は非開示としました。
	医療従事者との交流に関する倫理規定の説明	HC-MS-510a.2	医療従事者との交流に関する倫理規定の詳細については、 46 ページ をご覧ください。
活動指標	コード		
商品カテゴリ別 販売台数	HC-MS-000.A		Medline の売上については、 7 ページ をご覧ください。

SASB 指標

医療機器・医療用品の基準

トピック	会計指標	SASB コード	開示
輸送用燃料の マネジメント	輸送重量燃費	HC-DI-110a.1	米国では、Medline の主なトラッククラスの燃費 (MPG) は以下のとおりです。 クラス 4 (11.87 MPG) クラス 6 (11.28 MPG) クラス 7 (10.54 MPG) クラス 8A (9.16 MPG) クラス 8B (8.25 MPG)
	物流による環境への影響を軽減する取り組みの説明	HC-DI-110a.2	持続可能な輸送手段の詳細については、 22 ページ をご覧ください。
製品の安全性	製品の安全性に関する法的手続による金銭的損失の総額	HC-DI-250a.1	当該指標の 2023 年度実績は非開示としました。
	毒性／化学物質の安全性、高い乱用の可能性、または配送における販売製品の安全衛生リスクを最小化するための取り組みの説明	HC-DI-250a.2	Medline は、市場導入前審査プロセスに携わる生体適合性・毒物学チームを有しています。同チームは、Medline 製品の化学的安全性の評価に貢献します。通常その成果は、Medline 製品が安全かつ有効であることを保証するために利用可能な試験とデータについてまとめた生物学的評価報告書または毒物学的リスクアセスメントとなります。報告年度である 2023 年における具体的なプロジェクトには、米国と欧州で販売されている製品における副作用が知られているフタル酸エステル類、特にフタル酸ジ-2-エチルヘキシル (DEHP) の削減または除去が含まれます。
偽造医薬品	流通チェーン全体で製品のトレーサビリティを維持し、偽造を防止するための方法と技術の説明	HC-DI-260a.1	Medline は、トラック&トレースソフトウェアを使用して、メーカーのシリアルデータを受信および送信することで、規制対象製品が当社の倉庫システムを安全に移動しているかを確認しています。
	医薬品および医療機器のサプライヤーの認定のためのデューデリジェンス プロセスの説明	HC-DI-260a.2	Medline に対して Medline ラベルを付けた製品を提供するサプライヤーは、品質システムの評価 (リスクに応じてリモート評価と現場監査の両方)、エシカルソーシングのリスク評価、監査 (リスクに応じて)、行動規範への署名、品質保証協定への署名など、包括的なデューデリジェンスを受けることとなります。Medline はサプライチェーン全体で非常に大きな存在感を示しており、継続的なリスク評価、スコアカードの作成、医薬品分野に適用可能なエンジニアリングコラボレーション、原材料の化学的／微生物学的安全性確認などのデューデリジェンスに継続的に取り組んでいます。
	偽造品に関連する潜在的または既知のリスクを顧客およびビジネスパートナーに警告するプロセスの説明	HC-DI-260a.3	すでに流通している製品の偽造に関して既知のリスクがある場合、当社は適用されるすべての規制を遵守した正式なリコールプロセスを開始します。当社は、自動ソフトウェアプラットフォームを利用しており、確実に顧客と規制当局に適切に通知を行うために、専門のリコールチームを有しています。

SASB 指標

医療機器・医療用品の基準

トピック	会計指標	SASB コード	開示
	ライフサイクル全体を通して包装容器の環境への影響を低減する戦略の説明	HC-DI-410a.1	持続可能なパッケージングの詳細については、 28 ページ をご覧ください。
製品ライフサイクル マネジメント	回収、再使用、リサイクル、または寄贈された製品の量（重量）	HC-DI-410a.2	Medline は、米国において再使用のための単回使用医療機器の回収と再製造、および医療用品の寄付を毎年行っています。2023 年に、Medline ReNewal は Medline ReNewal プログラムの施設を通じて 2,564,389 点の医療機器の再製造を行いました。また、同じく 2023 年に、Medline とパートナーによる取り組みを通して、Medline ReNewal プログラムにより 1,518,654 pポンドの埋立廃棄物を削減しました。当社は、人道支援団体に 150 万ドル分の医療用品 185 トンの寄付も行いました。
企業倫理	利益相反と非倫理的な商行為を最小限に抑えるための取り組みの説明	HC-DI-510a.1	当社の行動規範は、企業価値、誠実さ、および行動基準の概要を示しています。当社の従業員が法律を遵守し、誠実に行動するための指針については、 46 ページ をご覧ください。
	賄賂、汚職、またはその他の非倫理的な商行為に関する法的手続による金銭的損失の総額	HC-DI-510a.2	Medline は 2023 年度のこの指標の業績を開示しないことを決定しました。

活動指標	コード	
医薬品の製品カテゴリ別販売単位数	HC-DI-000.A	当社の事業に影響を与えるものではありません。
医療機器の製品カテゴリ別販売数	HC-DI-000.B	Medline の売上については、 7 ページ をご覧ください。

用語集

以下の用語集には、本レポートで使用されている用語、フレーズ、頭字語が含まれます。尚、すべては網羅しておりません。

急性期医療：病気や外傷、手術後の回復期など、短期間だが重症の患者の治療

AdvaMed：先進医療技術工業会

AI：人工知能

外来・日帰り手術：一泊の入院を必要としない医療サービスまたは外科手術

バイオベースマテリアル：生物（またはかつて生物だったもの）由来の物質から意図的に作られた材料

生分解性：バクテリアや菌類など自然に存在する微生物によって分解される

炭素会計：温室効果ガスの排出量を算定・追跡する方法

カーボンフットプリント：事業活動により発生した炭素を含む温室効果ガスの総量

炭素強度：エネルギー消費によって発生する総二酸化炭素排出量

堆肥化可能：無毒で自然の要素に分解される、または分解できる。

包括的な医療サービスの提供：あらゆる疾患の段階、および医療の提供場所における一連の医療サービスの中で、長期にわたり患者を導き、追跡する統合ケアシステム

CPSC：米国消費者製品安全委員会

CSRD：企業サステナビリティ報告指令

採取から廃棄まで：天然資源が採取されてから廃棄されるまでの製品のライフサイクルの各ステージの環境影響を考慮したアプローチ

DDoS：分散型サービス拒否攻撃

分解性：微生物によって有機的に分解されるのではなく化学反応を通じて分解される

DEI：ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン

EAP：従業員支援プログラム

排出・放出：大気への温室効果ガスおよびその他の汚染物質の放出

エネルギー効率：より少ないエネルギーを使用して同じ機能を果たすことで、必要なエネルギー量を削減し、GHG（温室効果ガス）排出を最小限に抑える

環境的に持続可能：天然資源を保護するために生態系のバランスを保ち、現在および未来の世代が天然資源を利用できるようにする

EPA：環境保護庁（米国）

ERG：従業員リソースグループ

EU MDR：EU 医療機器規制

FDA：米国食品医薬品局

FTC：連邦取引委員会

環境配慮型建物：建物のライフサイクル全体で環境に責任を持ち、資源効率が良い建造物とプロセスの適用

温室効果ガス：大気に熱を閉じ込めるガスで、地球温暖化と気候変動に寄与する

グリーンテクノロジー：自然環境に人間が及ぼす影響を低減するためのテクノロジーとイノベーションの利用

グリーンゾーン：持続可能な方法で管理されている、または持続可能性に関する問題に焦点を当てている専用エリア

有害廃棄物：人間の健康にとって有害または危険な可能性のある廃棄物

医療アクセス：必要なときに適切な医療を受ける容易さまたは難しさ

適正な医療費：適正な費用で医療を購入できる能力

健康の公平性：全員に最高水準の健康を手にする公正かつ公平な機会がある状態

ホリスティック医療：身体、心、魂のつながりとバランスを認識した医療

HPIC：ヘルス・パートナー・インターナショナル・オブ・カナダ

IFRS：国際財務報告基準

ILO：国際労働機関

ISO：国際標準化機構

ISSB：国際サステナビリティ基準審議会

LCA：ライフサイクルアセスメント

LEED：環境に配慮した建物を評価する認証制度

LGBTQ+：レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、インターセックス、クイア/クエスチョニング、アセクシャル、その他多くの用語（ノンバイナリーやパンセクシャルなど）

MDSAP：医療機器単一調査プログラム

マネージドケア：医療の質を改善する一方で医療と健康保険を提供するコストの削減を目的とした一連の活動

医療廃棄物：血液または体液、感染性がある可能性がある物質により汚染されている可能性のある資材または機器

用語集

以下の用語集には、本レポートで使用されている用語、フレーズ、頭字語が含まれます。尚、すべては網羅しておりません。

NIST：米国立標準技術研究所

NYSERDA：ニューヨーク州エネルギー研究開発局

OECD：経済協力開発機構

R&D：研究開発

再製造：医療機器を再利用のためにリサイクルし、元の状態に戻すための清掃・消毒・滅菌プロセス。製品寿命を延ばし、廃棄物を削減する

SASB：米国サステナビリティ会計基準審議会

SDG：持続可能な開発目標

単回使用：一回使用してから廃棄するよう作られている材料または製品

SOP：標準作業手順書

持続可能な医療：未来の世代のための環境資源、経済資源、社会資源を損なうことなく確実に現代の人々の健康上のニーズを満たす医療

制度的不平等：既知または未知の偏見に基づいて不正な慣行に従う制度

TCFD：気候関連財務情報開示タスクフォース

UNGPs：国連のビジネスと人権に関する指導原則

廃棄物からエネルギーへ：多くの場合リサイクルできない廃棄物をクリーンな再生可能エネルギーにするために利用されるテクノロジー

排水：事業活動を実施するのに使用された水で、多くの場合廃棄物とその他の汚染物質を含んでいる

ウェアラブル：(身体に装着可能な) 健康モニタリング装置

WRAP：世界規模の責任ある認定生産

